



図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

百年の家

著者名	ロベルト・インノチェンティ	発行年	2010年
出版社名	講談社	ページ数	64ページ
値段	1,900円	ISBN	978-4062830423
コメント	みつけてください、あなたの小さな物語。 英語版と対比すると、より味わい深いです。		

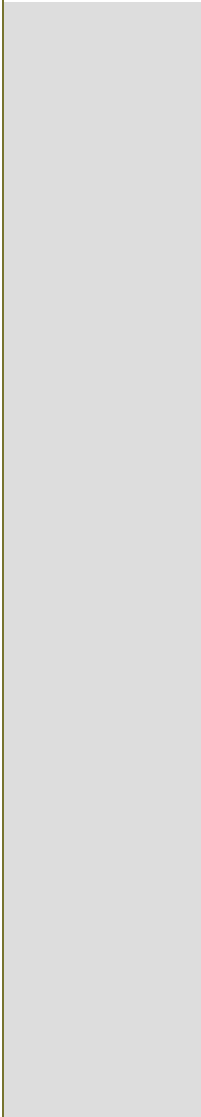
読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
万年筆 ☆☆☆☆	農園とその近くにある家の100年の歴史。農園をめぐる四季の変化という円環的な可逆的な時間の流れと、家を出入りする人々に流れる不可逆的な流れ、というふたつの相反的な時間の流れを表していて、しっとりとした感じを受けました。			
	全部	64P (10分)		2013/07/31 23:52:47
0冊からの追上げ ☆☆☆	家視点での100年の話。「いままでの暮らし方を継がない。それが新しい世代だ。」という言葉に哀愁を感じた。が、最後には改修されてまた人々が住んでハッピーエンド。			
	全部	64P (15分)		2013/07/31 03:28:27
しろ ☆☆☆	一つの家に着目して、流れ行く時代を表現した絵本。全体を通じて切ない感情にさせられるが、時とともに暮らしぶりがどう変わっていくのか絵の隅々まで見て欲しいと思った。			
	全部	64P (15分)		2013/06/28 18:58:50
はな ☆☆☆☆	風景や人々の服装の変化から時間の流れが分かるが、時間の経過と変化の度合いが比例しているわけではない。変化が起こる時には短い時間で大きく変わってしまう。戦争や人の死が、そのような変化の原因であり、絵から悲しみや切なさが伝わってくる。しかし、悲しい出来事ばかりではなく、心温まるシーンもあり、決して「孤独」や「切なさ」だけがテーマの本ではないと思う。短い話なのに感情を動かされました。			
	全部	64P (40分)		2013/06/28 14:46:45
	家にまつわる100年間のお話です。絵本を読むのは、久しぶりだったのですが、こんな暗い話なの			

ショーコール ☆☆☆	は、初めてだと思います。切ない気持ちにさせる絵本です。			2013/06/12 00:15:29
	全て	64P (15分)		
曦 ☆☆☆	「百年の孤独」の絵本だと思いますけど、全然違います。 この古い建物は何代の家族の生活を見ていました。 最後に、新しくなって、昔の外見じゃなくても、古い家の記憶は消えないでしょう？			2013/06/10 12:56:10
	全部	64P (20分)		
555 ☆☆☆☆☆	最初は、画のタッチが素敵で手に取りました。でも読み進めるうちに、切なさのほうが強くなりました。 「つみきのいえ」の絵本が好きだが、この本も同じくらい好きになった。この家が何年も生き続ける、という概念は、石造りの西洋ならではなのかなと思った。			2013/05/28 23:33:59
	全部	64P (40分)	最後のページ	
コアラ ☆☆☆☆	100年もの歳月を人とともに過ごした家のお話です。子供が1900年に廃屋だった自分を見つけてくれるところからストーリーが始まります。時間軸に沿って定点から人々の暮らしを見つめてきた、ちょっぴり切ないストーリー。時の移ろいを感じることができます。文章が少なく短い時間で読めるので、時間がない人にもオススメできる本です。			2013/05/14 19:24:54
	全部	64P (20分)	全部	
まるちぶる ☆☆☆☆	「百年の孤独」というG・G＝マルケスの傑作がありますが、あれはヒトを主役に据えた血のドラマ。それを模倣した作品が中上健次の「千年の愉楽」。マジックリアリズム、いいですね。 しかし本書は主役が家、いわば地のドラマです。キャプションを読んで想像してからページをめくると楽しいですよ。ここがこうなって、あそこはどうしてそうなるの、の連続。			2013/05/07 17:19:31
	全て	64P (30分)	最初のページ	
ぱみゅ ☆☆☆☆	絵のスタイルは暖かいですが、伝えた物語は絶えない悲しみが出てきた。戦争に対する嫌気、主人の離れに対する思い残しは物の視角から話したして、悲しい雰囲気はもっと強くなりました。			2013/05/05 21:54:28
	全部	64P (85分)		
vecky ☆☆☆	この絵本の語りである「百年の家」をどう受け止めるかで、個人的な感動の大きさが変わってくるだろう。 素直に読めば、差こそあれ皆ある程度の感銘を受ける作品に仕上がっている。 「百年の家」が一体何を、どのように、なぜ感じているのかをくみ取りながら読み進めてほしい。 小学生が読むには表現が難しいので、大人むけの絵本である。			2013/04/09 17:05:07
	全て	64P (15分)	なし	



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- 映画一覧
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板



山口晃作品集

著者名	山口 晃	発行年	2004年
出版社名	東京大学出版会	ページ数	80ページ
値段	2,800円	ISBN	978-4130831003
コメント	ルーペしおりは飾りじゃない！ こまかく緻密に組み立てられた「もうひとつのニッポン」。 古いような新しいような、現実のような絵空事のような。しばしの時空散歩をどうぞ。		

読者投稿欄

ペンネーム お勤め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
万年筆 ☆☆☆	昔の日本画のような描き方で、いろいろな現代のものや昔のものを同一のところごちゃごちゃと描いているのは、非常に胸くわくわくさせるものがありました。感覚で言うなら、好きなアニメと好きなアニメの登場人物が共演してるときに感じるようなワクワク感です。 あとは、それを違和感なく成し遂げてしまう技術にただただ感服します。			
	全部	80P (30分)		2013/07/31 23:44:20
ゆー ☆☆☆	期限そろそろやばいし、ばらばらと本屋で行く前に立ち読み・・・ 大和絵、浮世絵の中に現代がちらほら。 普通、同じ人が書く絵の人物の顔ってタッチは一緒でしょ？ それが作品によって違うのが見どころなのかな。			
	80	80P (80分)		2013/07/31 15:05:04
おいしい ☆☆☆☆	細かい！しかしだからこそ、1枚の絵に対して色んな角度から捉えることがき、面白く読めました。			
	全部	80P (20分)		2013/07/30 21:53:21
おさむ ☆☆☆	ルーペで見たかった。「芸術かよ語るなかれ。造れ」のアフォリズムに暫し身を任せた三十分。			
	全部	88P (30分)		2013/07/23 12:44:59
	機械と生物や街などの融合など独特の雰囲気すごい惹かれてパラパラめくってみたが、身近なも			

しろ ☆☆☆☆	のを別のものに見立ててる絵がすごい面白かった。			
	全部	80P (30分)		2013/07/22 16:52:20
こだま ☆☆☆☆	作品の一つ一つに精密さとユーモアがぎゅっとつまっています。かたくるしくないとこがさらにいいです！			
	全て	80P (20分)		2013/07/17 16:34:34
みね ☆☆☆☆☆	現代と古代混ぜている絵風はとても面白い。			
	1-80ページ	80P (20分)		2013/07/09 20:47:43
ちょんまげ ☆☆☆☆☆	生物と無生物、現代と古典、現実と虚構を絵という媒体を通じて描写していくことで不思議な感覚を与える絵たちだなと思った。 それぞれの境界線に挑んでいてナイスでした。			
	全部	80P (30分)	全部	2013/07/09 15:33:49
quench ☆☆☆	1枚1枚の絵がとても細かく描かれていました。気分転換にぱーっと全ページめくってみました。			
	全部	80P (30分)		2013/06/19 14:49:18
蛭田 ☆☆☆☆	中間試験の期間に息抜き程度にばらばらめくってみた。 細かすぎて目が疲れるほどだったが、ホントにいていねいに書かれているのが素人目にも分かるほどで、自分は特に現代と過去の町が融合したかのような不思議な絵に目をひかれた。			
	全部	80P (60分)		2013/06/13 16:19:15
ねりものや ☆☆☆☆☆	一枚の絵を見終わるのにメッチャ時間がかかる！ この人は一体どこから描き始めているのか。 どの程度下描きをして全体の構成を考えているのか。 それぞれの人たちにどんなストーリーがあるのかと、見ていてワクワクする作品たちであった。			
	全部	80P (60分)		2013/06/04 15:24:43
BBB ☆☆☆☆	パラッとページめくる分には普通の和絵なのに、一枚一枚見ると全然普通じゃない！笑 1番気になったのは馬とバイクが融合した乗り物。乗ってみたいのはもちろんですが、死後他の動物に食べられてるところを見て、馬の部分はちゃんと生きてたんだ！ってビックリしました。 見方によって様々な発見があり、予想以上に楽しめたと思います。			
	全部	80P (30分)	お馬バイク	2013/04/22 18:00:31
AM5:42 ☆☆☆☆	ルーペ使いたくなるくらい細かい・・・だからこそウォーリーを探すかのごとく目を凝らして見よう。 階段遊楽園を見ると、人が集まりまちをつくり、人が動く事でまちが動くということを強く感じさせてくれた。			
	1-80	80P (30分)	23-25	2013/04/18 23:26:29



図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

Blue-中村祐介画集

著者名	中村祐介	発行年	2009年
出版社名	飛鳥新社	ページ数	176ページ
値段	3,800円	ISBN	978-4870319226
コメント	いつまでも、夢をみていたいあなたに—— 絵からロックが聞こえてきます。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ねりものや ☆☆☆☆	最近各方面でこの人のイラストを見る事があるけれど、今までにもよくありそうな、ちょっとおしゃれテイストのイラストなんだけど、なぜか目に留まる「中村祐介節」があるのが不思議。描けそうで描けない独特の世界観、なかなか好きです。			
	全部	176P (30分)		2013/07/31 23:17:21
0冊からの追い上げ ☆☆☆	芸術はてんでダメなので一言だけ。4 2のセーラー服？セーラーワンピース？が良かった。			
	全部	176P (20分)		2013/07/31 03:40:46
ゆー ☆☆☆☆☆	アジカン、バンプが僕の音楽の原点でした。 この画集の初めから半分あたりは、青春をめくるようですごくワクワクした気持ちになりました！ 個人的には君繫ファイブエムの絵が一番お勧めです！			
	全部	176P (60分)	アジカンのジャケット	2013/07/22 12:51:13
ばみゅ ☆☆☆	絵画を作成方法は作者の感情の表現を制約するを感じました。			
	すべて	176P (30分)		2013/07/21 12:53:34
massa ☆☆☆	パラパラと読んでみました。とりあえず僕には芸術が分かりません。 でも、綺麗な絵で見ていて落ち着く感じがしました。			
	全部	176P (30分)		2013/07/19 10:53:38
	滑るようなカーブとカラフルな色彩で印象的な世界観でした。			

いとし ☆☆☆☆	出てくる女の子がエッチな感じでよかったです。			
	全部	176P (20分)	81-82	2013/07/10 17:13:47
quench ☆☆☆☆	見ていて不思議な感覚になりました。中村さん独特の感性がよく伝わってきました。あっというまに最後まで見てしまいました。			
	全部	176P (30分)		2013/06/19 14:56:29
14 ☆☆☆☆	この本を読んでまず気付いたのが、描かれている絵が幾何学的な曲線で全て描かれていること。そして何より一番目を惹いたのが、女の子の初潮をリンゴの芯から溢れ出る赤い蜜に例えて表現された絵。エロスをそのまま体現した才能溢れる一冊。			
	全て	176P (20分)	165P	2013/06/18 17:23:10
joker00 ☆☆☆☆	単なるカワイイやカッコいいとは違う、独特な世界観が広がっている。なんとなくで読み始めたけど、最後まで手が進んでしまった。パッと見オシャレ、でもじっくり見ると深い、そんな作品たちの魅力がぎゅっと詰まった一冊だと思います。ポストカードとかにしたらいい雰囲気だろうなあと。			
	すべて	176P (20分)		2013/06/04 15:17:19
25 ☆☆☆☆	手にとってすぐにアジカンのやつだ！とわかりました。絵とかよく分かんないけど綺麗です。女の子の目と線が好き。あとセーラー服っていい。			
	すべて	176P (20分)	p64	2013/06/04 00:45:11
はな ☆☆☆☆	元々、中村さんのイラストは結構好きなので自分には贅沢な一冊。改めて読んでみて、アジカンから始まり、森見登美彦、柊野浩一など、彼のイラストをきっかけに出会うことのできた作品が幾つかあったことを思い出しました。 切なげな女の子達を鮮やかな色彩で描いています。自分は目が大きい女の子が好みははずなのに、彼の描く切れ長な目の女の子達はとても可愛いから不思議。P53-60やP143以降の柔らかなイラストより、アジカン等に使用されている御馴染みのソリッドなイラストの方が個人的には好み。 一見センスの塊のように感じる彼の絵ですが、中村さん自身は「自分らしさや個性より、人が喜ぶ絵・人に役立つ絵など価値があるものを描くことが大切」と言っています。彼の絵が売れるのは、彼が誰よりもイラストを見る人のことを考えてるからかな、と思います。作品を創るうえで、受け手を意識するのはとても重要なことだと再確認できた一冊でした。			
	全部	176P (80分)		2013/05/27 16:44:26
おさむ ☆☆☆☆	一見、自分の好みには反する画のタッチだったけど、想像以上にしつこく感じなかったので読み進めることができた。一歩間違えば1ページ目で投げ出してしまうかもしれない印象のような作品を、筆者の微妙なART（技術）的なセンスによって繋ぎ止められ、気づいたら最後まで捲ってしまっていたという感覚。日頃、余り意識することなく見過ごしている様々な物事にメッセージ性を持たせ我々の想像力を掻き立てる作品の数々。メディアとして”イラスト”の可能性を強く意識させられる作品集でした。			
	全部	176P (30分)	p47,p23,p48,p60,p77,p165	2013/05/07 11:43:57
	「幾何学」「切り絵」「ベタ塗り」,そして「エロス」! サイン入りの画集をゲットしたかったけれど持ち合わせがなくて買えなかった悲しい事件を思い出してblue……			

まるちぷる ☆☆☆☆	全部ポストカードにして壁じゅうに貼ったら楽しいと思う。		
	全て	176P (90分)	黒柳徹子さんのいるページ (ページ数失念) 2013/04/24 11:24:08
おいしい ☆☆☆☆	不思議と、気持ちが澄んでゆくような感覚を覚える絵ばかりでした。何がそのように働きかけるのかはハッキリとは分かりませんが、恐らく絵のシンプルさと独特の世界観に起因しているのかな？		
	全部	175P (20分)	2013/04/24 01:11:45
AM5:42 ☆☆☆☆☆	アジカンのファンにはたまらない一冊。。。ぜひ欲しい！けど高い！色数が多かったり、彩度が高い色が多いのに、うるさくなく、すんなりと目に入ってくるこの感覚、そして女の子の可愛さ。きゅんっします・・・		
	1-176	176P (30分)	19,91,92 2013/04/23 01:31:31
コアラ ☆☆☆☆☆	カラフルな色合いで気持ちが明るくなる画集だった。特に47ページのイラストが気に入った。テールが水面に浮かんでおり、かつ窓が空中に浮いているようで不思議なイラストだった。色合いも優しく、大きなポスターにして自室に飾りたいと思った。		
	全部	175P (80分)	2013/04/22 14:26:15
555 ☆☆☆☆☆	ASIAN KUNG-FU GENERATION のCDジャケットや、森見登美彦さんの本の表紙を描かれた中村祐介さんの画集です。イラストレーターで描いたのかと思いきや、線は全部手書きだそうでシンプルな線と繊細な色使いのポップな画集です。絵の意味やタイトルを考えながらみるとおもしろいかも。		
	全部	175P (50分)	2013/04/18 17:06:00

[TOPへ](#)



図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

The Arrival

著者名	Shaun Tan	発行年	2007年
出版社名	Arthur a Levine	ページ数	128ページ
値段	19円	ISBN	978-0439895293
コメント	言葉をうしないます。 こんな表現方法があったのか、と。 言葉のいっさい存在しない、サイレント絵本。表情が光景が、不思議なアイテムたちが、心の深層へとダイレクトに語りかけてきます。 かなしくて、あたたかい。おとなのファンタジー。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
0冊からの追上げ ☆☆☆	芸術はわからない。何を伝えているのがろう、解説が読みたい。 ペット？のウーパルーパみたいな生き物が何なのか気になった。			
	全部	128P (10分)		2013/07/31 04:04:31
こだま ☆☆	何を伝えようとしているのかはよく分かりませんでした。 なので、内容については何も言うことはありません。 ですが、著者の画力は素晴らしいものと思います。			
	すべて	128P (10分)		2013/07/30 15:11:02
zin ☆☆☆	怖いというのが第一印象。 小さいころよくこのような妄想してた。 自分の世界が自分の世界で完結する理由なんてどこにもないんですね。			
	全部	128P (10分)		2013/07/25 12:56:47
iksk ☆☆	なんかよくわかりませんでした。 コマ送りで何かを伝えようとしているのかもしれないーと思いつつも、うーんって感じでした。			
	全部	128P (10分)		2013/07/23 12:47:33
はやぶさ ☆☆	よくわからん。中学校の美術を思い出した。			

	全部	128P (10分)		2013/07/17 15:06:22
いとし ☆☆☆	お話のつながりはよくわからなかったけど、モノクロのやさしいタッチで描かれた絵が、人々の悲しげな表情をうまく表現できているなぁと感じました。			
	全部	0P (15分)		2013/07/17 14:39:18
AM5:42 ☆☆	うーん。 サイレントだけど、読んでいて音や声が思い浮かぶのか？と言われると難しかった・・・ 創造的な絵本だけに、音や声があった方がより想像しやすいのではと思った。			
	全部	128P (30分)		2013/07/16 17:29:44
Shushu ☆☆	かなりSFよりの内容で、想像していたのと違った。 最後家族に会えて良かったという事しか明確にわからなかった。			
	全部	128P (25分)		2013/07/16 15:11:50
ちょんまげ ☆☆☆	題名と内容の関係性を考える。 本のインクのにおいが少しきつかった。			
	全部	128P (30分)	全部	2013/07/09 15:19:14
なすび ☆☆☆	えんぴつ書きでここまで表現できるのがすごいと思った。 途中でてくる変な生き物はなんなんだろう。個人的には嫌いではない			
	全部	128P (10分)		2013/07/09 15:08:54
みね ☆☆	意味不明、わかり難い..			
	1-128ページ	128P (20分)		2013/06/25 23:24:48
おさむ ☆☆☆	分かる人には分かるんだって。でも俺には理解出来ませんでした。			
	全部	200P (30分)		2013/06/04 16:41:40
quench ☆☆☆	文字がない絵本というところに惹かれて読んでみたのはいいものの、自分の想像力では内容がつかむのが難しい部分もありました。			
	全部	128P (30分)		2013/05/29 14:15:47
まるちぶる ☆☆☆☆	文章表現によるものごとの「れにくさ」を、絵は補完できるんだと思います。それは共有されていない創造であったり、言いようのない（文字通り言いようのない！）悲しみや、柔らかな歓びの深さであったり。			
	全て	128P (40分)	座って読むべき	2013/05/23 15:51:32
	文字のない絵本というのがこの本のキャッチコピーですが、モノクロなので言葉だけでなく、色彩も自分なりに彩っていけるところが面白いと思います。また、この場面ではこの音楽が聞こえてきそうとか、こんなにおいがしそうというように五感（？）をフル活用して読むとかなり楽しめる			

BBB ☆☆☆	気がします。子供が出来たらぜひ読ませたいと思いました。 個人的に登場してくる生き物が可愛くて好きです。特に主人公の相棒と宿泊先のベル替わりの生き物がお気に入りです。		
	全部	128P (30分)	2013/04/13 00:09:50

vecky ☆	いやー、超つまんねー。 内容ぶっとなでるし。 全てが理解不能でコメントできねー。 これくらい変わった創造性があるならば、この作者の他の作品には期待してみたい。 全部の絵を見ながら自分なりに解釈して45分とか。 最初の数ページで飽きました。 しかし、これを完成させた労力には脱帽です。		
	全部	128P (45分)	なし 2013/04/10 16:45:19

[TOPへ](#)



図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
覧

自己プロフィー
ル

掲示板

3 秒

著者名	マルク=アントワヌ・マチュー	発行年	2012年
出版社名	河出書房新社	ページ数	0ページ
値段	1,800円	ISBN	978-4309273082
コメント	同じくサイレントのコマ割り絵本だけれど、Arrival とはまた異なった攻め口。たった3秒で1冊の本。でも、あそこを飛んでいる羽虫にとっては、私たちの3秒が3年相当だったりして。これはもう手にとって御覧いただくしかありませぬ。Web直行バス付き。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
万年筆 ☆☆☆☆	合わせ鏡のように無限に連鎖していくので、気を抜くと作品に魅入られそうで怖かったです。 第一印象としては「現代美術っぽいな」でした。別に美術にそこまで詳しくないので偉そうには言えないですが、自分のなかでは、現代の美術は限られた中で多くのことを表そうとした結果、表層的にはよくわからなくなってしまうものの、みたいな印象があるのですが、この作品はそれとかぶるものがあったので。 これはサッカー界のスキャンダルを描いたものとのことですが、スキャンダルという新聞や雑誌などでしか取り上げられないものをこのように絵だけで表現しようとする姿勢には、芸術家の新しいものに挑戦しようとする意欲を垣間見た気がします。			
	全部	0P (15分)		2013/07/31 22:29:04
0冊からの追上げ ☆☆☆	どんどん反射していった、別角度から見るとこうなっていたのかーとなったけど、反射しまくりでだんだん頭痛くなってきた。			
	全部	0P (10分)		2013/07/31 19:30:56
ゆー ☆	感覚としてスマホとかフラッシュのアプリで脱出ゲームをやってるみたいな感じ。 いろんな情報が絵に詰まってるなと感じたけど、その情報を読み取る意味合いは？			
	全部	0P (3分)		2013/07/31 15:16:06
ruke ☆☆☆	3秒というタイトルに興味をもって読んだ。 ストーリー展開や本の趣旨はあまりわからなかった。 そこを反射してストーリーが結び付くのか、という意外な展開もあった。しかし世の中はそこまで反射していない。			

	全部	0P (15分)		2013/07/31 08:48:31
ゆう ☆☆	良さが全く分からないが、発想は面白い気がする。この人はデザイナーではなくアーティストなんだと思った。			
	すべて	100P (10分)		2013/07/31 00:50:33
おいしい ☆☆☆	タイトルに惹かれて読みました。 が、著者の意図が掴めませんでした。読解力、想像力が乏しいのでしょうか・・・			
	全部	0P (10分)		2013/07/30 01:26:01
zin ☆☆	うーん結局何を伝えたかったのか、いまいわからなかった。 発想は素晴らしいと思う。			
	全部	0P (10分)		2013/07/24 12:54:44
はやぶさ ☆☆☆	反射をテーマに、人の視線の動きもよくとらえているなと思いました。絵が日本人受けしませんねえ。			
	全部	100P (10分)		2013/07/17 15:08:34
いわし ☆☆	最初は1ページずつバラバラに、何かを拡大して見ていくという作品だと思ったけど、本全体でつながっていることに気づいてびっくりした。よくできていておもしろいとは思ったが、これで何になるのかよく分からなかった。			
	全部	0P (20分)		2013/07/17 14:32:04
Shushu ☆	発想自体はとてもおもしろかったが内容がわからなかった。			
	全部	0P (15分)		2013/07/16 14:48:47
neueziel ☆☆	進め方おもしろいなおもったけどワンパターン過ぎてあきる。			
	全部	0P (10分)		2013/07/16 11:01:25
ショーコール ☆☆	いまいち内容はよく分からなかったが、面白そうだというのは感じました。3秒間にさまざまなことが起きているということだけは、わかりました。この解釈は間違っているかもしれないけど……			
	全部	0P (15分)		2013/06/18 17:43:19
曦 ☆☆☆	ただ少しだけの光が目に入るとしても、ある方法（今で存在しないけど）を使うなら、現在に世界のどこかで行っていることが、部屋でも、道路でも、飛行機でも、分かることができる。 光が生き物だとしたら、どこまでのデータを得ることができるかだと考えています。			
	全部	0P (20分)		2013/06/13 16:28:51
25 ☆	正直一回見てもふわっとしか理解できなかったです。ただ頭使いそうだし二回目読む気力はないです。少なくともさらっと見るのには向かない。 他の方も触れていますが、ここまで拘ったのにどうして3×3のコマ割りにしたのか理解しかねます。			

	すべて	0P (15分)	なし	2013/06/06 00:17:34
ねりものや ☆☆☆☆☆	正直惹き込まれてしまった。 「銃弾はそっちに向けられていたのか！」 「こいつとこいつが裏で繋がってる!？」 「この後一体何が起ころんだろう…」 進んでいないようで進んでいるストーリーの中で、次第に状況を把握していく演出が素晴らしいと思う。絵の雰囲気も出て、不気味な空気が伝わってくる作品だった。			
	全部	0P (30分)		2013/06/04 15:20:24
14 ☆☆☆☆	ばらばら漫画にしたら10倍は分かり易かったはず。 何度も読み返したんですが、いまいち確信の得た答えをつかむことが出来なかった。			
	全て	0P (10分)		2013/05/24 17:45:55
quench ☆☆	いまいちよくわからないところがたくさんあったため、ぱっと見るだけで終わってしまった。発想の方向自体は面白いと思う。			
	全部	0P (20分)		2013/05/22 16:14:24
ひゃくたむ ☆☆☆	絵の構成はとても面白い発想だと思った。しかし、構成上昇がないが見づらい。そしてストーリーをヒント見てもよく分からなかった。ひとえに私の読解力不足でございます。			
	全て	0P (30分)		2013/05/21 19:50:36
コアラ ☆☆	タイトルに惹かれて借りたけれど、鏡やガラスを反射して場面が繋がっていく場面転換は今までにない新しい構成だと思った。しかし他の方のコメントにも書いてあるようにコマ割りにもっと工夫があれば、もっと魅力的な本になるのではないかと考えた。			
	全部	0P (15分)	特になし	2013/05/14 12:30:17
AM5:42 ☆☆	うーん。。。発想は面白いけど、いまいち読みにくかった。ばらばら漫画みたいになれば面白いけど、視覚的にずっと入り込む感じではなくて少し残念だった。			
	ぜんぶ	0P (15分)	どこでも	2013/05/12 00:45:19
555 ☆☆☆	読んでいても、何を伝えたい本なのかが、いまいち分からないまま進む。本の形式が1ページにコマ割りするのではなくて、1ページ1コマだったら、もっと雰囲気出たのかなあと思った。			
	全部	0P (20分)		2013/05/07 17:06:14
ばみゅ ☆☆☆☆☆	ただ3秒内の時間で起こった事をすべて直視ではなく、反射された画面で表現した。この本を読むのはかなり空間想像力が必要だと思う。			
	全部	0P (50分)		2013/05/07 12:55:44
まるちぶる ☆☆☆	講義で紹介された本の中で、いまのところ最もページあたり読書時間がかかったのが本書。とてつもなく疲れる。 美術館に行くと毎度毎度、異常に大きな絵画や、気が狂いそうなほど細かい筆致を見ると、嗚呼偉いなあと感心してしばし立ち止まって眺めてしまう。そんな癖がある人には（どのくらいいるのかわかりませんが）おすすめです。隅隅まで検めたくになります。 ただし、それら極大極小の芸術に接するときの張りつめた空気が長いこと続くので、コーヒーでも片手にどうぞ。			

	全て	0P (30分)	途中から読んでも仕方がないしページ数書いてない！！	2013/04/16 22:27:45
Harley Davidson ☆☆	「絵本だからスラスラ読めるじゃん」って思って読み始めてみましたが、読み終わった後はちょっとモヤモヤしたような気分になりました。作者は絵の細かいところまで凝っていますが、何を伝えたいのかが分かりにくいです。一方で本書に紹介されているwebサイトでちょっとした解説があります。			
	全部	0P (15分)		2013/04/11 17:46:10
あきう ☆	なんというか.....アーティスティック？ちょっと不気味な絵とストーリーになじめませんでした。もうちょっと時間かけて読めばよかったのかも。			
	全部	0P (10分)		2013/04/11 11:09:19

[TOP](#)へ



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- 映画一覧
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

テルマエ・ロマエ ～

著者名	ヤマザキマリ	発行年	2009年
出版社名	エンターブレイン	ページ数	100ページ
値段	714円	ISBN	978-4047261273
コメント	古代ローマ。どーんと気合いの入った歴史浪漫かと思いきや、お風呂しか舞台にしないもんね、という人を喰った設定がすてき☆ 思い込みの激すぎるルシウス君、かわいがってやってくださいませ。アベカンが超ハマリ役の映画と一緒に楽しみばポイント2倍ゲット！		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
0冊からの追い上げ ☆☆☆☆	面白かった。ただ↓の人も書いているように展開がワンパターンで、面白いという気持ちは1巻がピークだった。でも、お風呂が好きなので読んでいて楽しかった。映画も見ただけだったが、主人公の絵を見た瞬間、これは阿部寛まんまだわと思った。			
	1～6巻	600P (120分)		2013/07/31 03:48:42
zin ☆☆	なんか割とワンパターンであまり惹かれなかった。 最後の方でどんどん面白くなるのかなーと思ってたらそうでもない。 ストーリーを求める方には向かないかな…。			
	1-5巻	500P (120分)		2013/07/25 13:41:40
こだま ☆☆☆☆☆	面白いです。 いろいろな日本のお風呂が登場して、自分が普通だと思っていたお風呂が実はすごい技術であることを、シリウスが発見する形で再発見できます。 また、その時のシリウスの驚愕ぶりが癖になるくらい面白いです。			
	,	200P (40分)		2013/07/24 18:25:32
ゆー ☆☆☆☆	僕も銭湯とか好きで休日一人とかでよく行くのでローマ人の心はとてもわかります！ 作品としては日本にタイムスリップしてローマに戻ってと、パターンがお決まりな感じになってしまっていますが、こーいうものなのかな。 読んでほのぼのとした気持ちにさせてくれました。			
	1～5巻	500P (240分)		2013/07/22 12:44:12

BBB ☆☆☆☆	映画が話題になって単なる流行ものという印象しかなかったのですが、こんなに面白いと思わなかったです。 漫画としての内容も面白いけどこの時代の社会的描写がリアルに描かれていて感動しました。次で最終巻とは少し寂しいですね。			
	1-5巻	500P (180分)	色んな体勢で湯船に飛び込むシーン笑	2013/07/21 12:06:40
くい ☆☆☆☆	ルシウスが日本に来るたびに今のお風呂の技術はすごいと気づかされました。 ルシウスは本当に真面目ないい人ですね。 とても面白い漫画でした。			
	1～5巻	500P (100分)		2013/07/09 13:06:47
マルメロ ☆☆☆	以前 、 巻は読んでいたのですが映画を見て続きが気になってきたので読んでみました。 個人的にはマンガのほうが好きでしたが、映画と比較しつつ読むのも面白いと思います。			
	、 、 、	400P (120分)		2013/07/08 00:30:24
ゆう ☆☆☆☆	浴場×古代の世界 というコンセプトが面白い。 古代ローマのこととか考えたことがなかったが、 当時の人たちをユーモアも交えながら描いてるので、 今後世界史系の本も読んでみたいと思えた。			
	家	300P (100分)		2013/06/25 18:26:07
daaasu ☆☆☆	映画にはなかったネタがたくさんあって楽しめました。 映画の良さ（阿部寛のうまさ）もはっきりしてきます。			
	1～5巻	500P (30分)		2013/06/19 14:10:34
ばみゅ ☆☆☆☆	ローマと日本の比較、古代と現代の比較によって、お風呂の機能や異なる場合の特別の意味を展示してもらった。			
	1-2巻	500P (180分)		2013/06/16 16:14:44
蛭田 ☆☆☆☆	シュールな笑いが最高だった。 映画も見たが、原作の方が好みだった。 でも映画も面白かったので、是非そちらも勧めたい。			
	1,2巻	500P (60分)		2013/06/13 15:37:10
じゃけん ☆☆☆☆	とても面白い設定の漫画です。一話ごとに見開きでローマと温泉の文章もまた興味深いものが多く、漫画とは別に楽しめます。			
	1巻～2巻	500P (180分)	ルシウスの驚愕する様	2013/06/10 11:50:32
recald ☆☆☆	読むと銭湯に行きたくなる。			
	1巻～4巻	400P (180分)	2巻の一話	2013/06/03 13:43:25
0120086144 ☆☆☆☆	映画にしたときの上滑り感の原因がはっきりわかった。やっぱり原作に当たらないといけないと実感。			

	1 巻、3～5 巻	400P (30分)	3 巻	2013/05/24 16:00:11
Harley Davidson ☆☆	お風呂もよくできたもんだな、って思いました。 ウォッシュレットにびっくりしてるシーンもなかなかよかった。 日本が誇れる文化の1つだと思う。			
	全部 (1-3巻)	300P (90分)		2013/05/20 17:32:00
あきう ☆☆☆	映画から入ったのですが、映画の内容は漫画をかなり参考にしてているのだなと思いました。新しい 発想が思いつかない、行き詰っているときには時代の違う他国の文化を調べてみようと思います (笑) やっぱりお風呂っていいですね……			
	1.2.3.4.5.6巻	600P (70分)	4巻	2013/05/16 11:52:45
candy ☆☆☆	先に映画を見てから漫画を読んだのですが、映画は結構原作に忠実に再現しているんだなと思っ た。お風呂を題材に、こんなに笑える漫画をつくってしまえる作者の発想にあっぱれです。			
	1－180	180P (40分)		2013/05/14 08:53:58
フラン ☆☆☆☆	IV(100ページ?) 今回は長編です。この一冊だと終わらなかった！ これ一遍書くだけでも、結構な下調べとかありそうで大変そうだなと思います。 個人的にはもっとショートな話の方がキビキビとして好きなのですが、このように掘り込もうとす るとページが足りないのかもしれないかもしれません。マンネリ化しないかが心配(その分作者の手腕に期待させ てもらいますが)。			
	すべて	100P (15分)	ローマ&ふろ わが愛 (IV32.132.186)	2013/05/10 08:41:59
みね ☆☆☆☆☆	It's quite interest for a western people in Japan.			
	1-186ページ	186P (30分)		2013/05/07 22:25:44
しろ ☆☆☆☆	ひたすらお風呂。それだけを書いてるのになんだか笑わせてくれる。 そういえば外国人を温泉に連れて行ったときも平たい顔族の世界に行ったルシウスに近い反応だっ たなーとしみじみ思う。			
	1.2.3.4.5.6巻	600P (120分)		2013/05/07 19:28:23
フェリー ☆☆☆☆	巻：四巻の続きです。ルシウスの乗馬すごい。。。さすがローマ人！ 巻：一話完結型の方が好きだったです。			
	、 巻全部	370P (60分)		2013/05/06 21:36:32
555 ☆☆☆	日本のお風呂の技術を、ローマの浴場に反映させる方法がおもしろい。 でてくる登場人物がみんな優しくて良い人。			
	1.2.3.4巻	100P (80分)		2013/04/28 23:21:44
AM5:42 ☆☆☆☆	日本もかつてはまちの人達が集い、疲れを癒す場であった公衆浴場。それが全国的にも減少してい る今日、こういった媒体が銭湯の存続に対して大きな力となっているのではないかと思った。			

	1-100	100P (30分)		2013/04/27 21:17:57
ショーコール ☆☆☆☆	映画を見ていたので、大体の内容は知っていたのですが、面白かったです。漫画の中にあるコラムも意外によかったです。第二弾の映画も楽しみです。			
	1巻全て	100P (30分)		2013/04/25 11:17:16
しろちゃん ☆☆☆☆	古代ローマと日本のお風呂大好きという意外な共通点をテーマに、今ある日本の大衆浴場文化の奥深さを思い知らされました。興味深い知識を増やせるところも魅力的でした。			
	1, 2, 3 巻全部	100P (60分)		2013/04/23 23:22:13
kabadie ☆☆☆	単なる漫画では終わらない、知識と教養の本。 知らない文化に触れたときにあそこまで柔軟に対応し、自分の持ち駒だけで活かすのは至難の業だと思う。			
	1-100	100P (80分)	全部！	2013/04/23 20:27:19
25 ☆☆☆☆	日本の文化に馴染んでる外国人を見るとなんかほっこりするあの感覚。 平たい顔族のおじいさんの平たい顔さが面白い。 この本を持っていると友人に「その本面白いらしいけど俺はちょっとホモホモしいから無理だわ」と言われました。			
	1,2巻	100P (100分)	6話	2013/04/21 22:07:27
vecky ☆☆☆	不覚にも、読み始めてクスッとなってしまった。 ただ一度読みすすめてしまえば飽きてくる。			
	1巻、2巻、5巻	60P (60分)	ルシウスが驚く顔	2013/04/17 10:45:47
まるちぶる ☆☆☆☆	筆者の書く解説が結構好きで、新刊が出るとまずそれを探して読みます。新刊を買ってくるのは妹の仕事です。有難い。 ワンパターンなのに面白いのは、僕らが温泉やお風呂を大好きだからなんでしょうか。笑い3割フムフム7割で読める充実したマンガ。			
	全て	100P (45分)	どこからでもどうぞ！	2013/04/16 22:20:57
rk ☆☆☆☆	やっぱり漫画版は面白い。 こういう発想ができれば、金持ちになれるのになぁ～と思いました。			
	1巻全部	100P (30分)		2013/04/16 18:31:12
ほしほし ☆☆☆☆☆	映画を先に見て、風呂と古代ギリシャと言う違和感が面白かったため読んでみました。 漫画で思ったことはヤマザキさんの絵が素敵だなという事です。フワッとざらっとした感じが心地よく、あっという間に読んでしまいました。ルシウスに阿部寛さんを充てようと決めた方はエライです！			
	1-100ページ	100P (45分)	1-2ページ	2013/04/13 16:16:42
ひゃくたむ	面白い。アホなことを真面目にやると面白いよね。			

☆☆☆☆	全部	100P (60分)		2013/04/12 02:46:57
------	----	------------	--	---------------------

まほら ☆☆☆☆	現代日本でカルチャーギャップに驚くルシウスと、ローマに帰ってからのその知識を生かした行動が面白い。			
	1巻 2巻	100P (60分)		2013/04/10 14:09:49

[TOP](#)へ



図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

天地明察 上・下

著者名	冲方 丁	発行年	2012年
出版社名	角川文庫	ページ数	475ページ
値段	282円	ISBN	978-4041003183
コメント	しっかり調べて、じっくり人物像を立ち上げた重量級歴史小説。 渋川春海さん、暦をつくった人。読みやすくてキャラの魅力にはまれます。 江戸時代人と算法勝負をしたいかたは、21ページと143ページと236ページへ直行！		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
river.i ☆☆☆☆	改暦という日本を背負った一大プロジェクトを達成しようとする 主人公の意地が感じられる。 数学的な真理を追い求める。まさに東工大向け。 映画版では宮崎あおいが主演女優なので見たい。いや、見る。			
	全て	475P (300分)		2013/07/31 11:24:33
massa ☆☆☆☆	とりえず長い、最初の部分は私的には面白くなく読み切れる自信がなかったのですが、そこを乗り越えたら簡単に読み切れました！ 主人公の温厚さなどにも癒されました。			
	全部	475P (300分)		2013/07/19 10:50:46
recald ☆☆☆☆☆	これ上下巻合わせてページ数560〜570くらいある気がするけど、なんで475ページに？？ 内容はとても面白いと思います。主人公が現代の学生だったら東工大にいそう。			
	上下全て	475P (330分)		2013/06/03 12:19:37
joker00 ☆☆☆☆	第一印象は重い...でも深い。 万人受けはしないと思いますが、はまると本当に面白いです。 渋川春海の人柄、またそれを支える周りの人たちが素敵。 映画も見ましたが、岡田准一がいい味出してます。 人間関係ベースで、わかりやすい。こちらもオススメです。			
	全部	475P (180分)		2013/05/22 11:04:18

マルメロ ☆☆☆☆☆	読み進めていくうちにどんどん引き込まれていく。 そんな引力のある本だと思います。		
	映画も見ましたが、 原作そのままではなくとも、原作を先に読んでいても先でもがっかりしないようなものになっていました。 ぜひ両方を楽しんでみて欲しいです。		
	全て	475P (180分)	2013/05/12 23:12:37

しろ ☆☆☆☆	実際にあった改暦という大事業を成し遂げるまでの足跡を記してるだけあって、改暦の難しさであったり、理不尽な勅命だったり様々な苦難があるが、そのたびに周囲の人の協力で何とかして行くといった王道的な小説。 ひとりひとりのキャラが立っていて一度小説の世界に入り込んでしまったら一気に最新まで読んでしまいました。		
	全部	475P (240分)	2013/05/07 17:41:45

あきう ☆	最初の方少しだけ読みましたが挫折しました。ゆっくり何回か読みましたが良さがちんぷんかんぷん。。。面白くなるにはもう少し我慢してページ数を進めなきゃいけないのだろうか……		
	1-15	15P (10分)	2013/04/23 17:58:11

こだま ☆☆☆☆	重量級の小説ではあるけれども、読みやすくあっという間に読むことができる。読み終わった後に素直に「面白い小説だった」と感じることができる小説だった。 建部、伊東、星名、関孝和などの渋川晴海を支える脇役陣が魅力的であった。		
	すべて	475P (180分)	2013/04/15 20:40:23

[TOPへ](#)



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- 映画一覧
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

鹿男あをによし

著者名	万城目 学	発行年	2010年
出版社名	幻冬舎文庫	ページ数	454ページ
値段	686円	ISBN	978-4344414662
コメント	セントくん蹴る奈良へGO！ 「マイシカ」がド真ん中のツボでした。 ふうん、奈良の人ってスーパー行くのもマイシカなんだ、そうなんだ。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
万年筆 ☆☆☆☆	神道大好きなので、こういう神道をテーマとして扱っている本は好きです。 ネタバレしてごめんなさいなのですが、自分的に好きなポイントはヒメとの鹿、鼠、狐の1800年を超えた絆です。狐は結局最後まで直接登場することはなかったのでなんともいえないですが、鹿と鼠が1800年たった今でもヒメのことを大事に思っていることは伝わって来ました。こういう絆に自分は弱いので、最後のほうは泣きそうでした。 この作品で一番好きな発言は、鹿の 「私だけじゃない。狐も鼠も、きっとヒメのことが好きだったんだと思う。狐がいくらヒメを利用してやったと憎まれ口を叩いて、鼠がヒメは自分がいなくて何もできないと勘違いしていようとな。皆、あの女が好きだったのさ」			
	全部	454P (120分)		2013/07/31 23:13:49
river.i ☆☆☆☆	日本にこんな神話もあるのかとわくわくした。 歴史の話も出てきますが、登場人物たちのかけあい 設定の面白さに+αされていて読みやすかった。			
	全て	454P (240分)		2013/07/31 11:19:23
蛭田 ☆☆☆☆	昔ドラマでやっていたのを思い出して手に取ってみた。 結構、というかかなり原作に忠実にドラマが作られていたんだなぁと感じた。 ススイ読める感じで、また、読み手を選ばない本ではないかと思う。 個人的には、現実なのか虚構なのかだんだんあやふやになってくるような、あの独特な世界観が好きだ。			
	全部	454P (480分)		2013/07/11 17:50:49

はな ☆☆☆☆	他の方も書いていますが、設定は大胆、読み口はあっさり。しかし、剣道の試合はしっかり白熱するし、ラストの展開も切なさを感じさせながらもちゃんとドキドキさせてくれます。 解説に児玉清さんも書いていますが「存在感は抜群、そこにいだけでオーラを発散する凜とした佇まい」のヒロイン堀田イトが抜群に良い。とても可愛い。70を過ぎた児玉さんが絶賛するのだから「16の女の子と恋愛するのもありだな」と思ってしまった自分にも罪はないでしょう。とても誠実で好感は持てるが神経質で喧嘩っ早い主人公と、堀田が発展しそうなイメージは全く湧きませんでした。 これも児玉さんが書いていますが、夜の奈良を歩いてみたくなる一冊です。			2013/06/29 19:52:39
	全部	454P (400分)		

Harley Davidson ☆☆☆	予想外な流れが多くて、面白かった。 ドラマも見てみたいなー。			2013/05/27 16:53:46
	全部	454P (110分)		

マルメロ ☆☆☆	設定が面白いが、ストーリー展開としてはそこまで突飛ということもなく、普通に読むことができた。 全体としてはさらさらとした読み口だとおもうが、 剣道の試合の部分は描写がいきいきといいて引き込まれました。			2013/05/17 22:18:20
	全部	454P (120分)	2 3 1 ~ 2 9 4	

いわし ☆☆☆	ドラマでもみたことはあったが、小説で読んでも面白かった。 最後まで飽きなかったです。			2013/05/15 13:39:59
	1-454	454P (420分)		

recald ☆☆☆☆☆	他にやるべきことがあるのにストーリーの続きが気になって読んでしまった。予想外な展開が多い。			2013/04/27 02:23:00
	全部	454P (420分)	438ページ	

kabadie ☆☆☆	読んでいて情景や空気が伝わってくる本。 朝方の冷たい空気とか、夜のなんともいえないさびしい感じとか。 そこを彩るのは鹿、鹿、鹿。			2013/04/23 20:31:08
	1-454	454P (200分)		

iksk ☆☆☆☆	最初は話す鹿とか鼠とか狐とか何が何だかわからなかったが、読んでいるうちに面白くなって一気に読みだった！ 読み終わってみると、すがすがしい気持ちになった。			2013/04/21 18:36:03
	全部	454P (200分)		

massa ☆☆☆☆☆	万城目ワールド炸裂の小説だと思います。ほかの作品もぜひ読んでください。 くだらないと思っても、そのまま読み進めたらはまると思います！！			2013/04/11 17:21:49
	454	454P (180分)	全部	

	ありえない展開でどんどん読む人を取り込んでいくスタイルはやっぱり気持ちいい。幼稚といわれ			
--	--	--	--	--

ちょんまげ ☆☆☆☆☆	ようと、文句なしに面白いのでいいのです。 今回は奈良がメインの舞台ですが、万城目作品は土地に根付いたものが多いので、下手に旅行に行くよりもその土地について知れるのがいいですね。 他の万城目先生の作品もぜひ読んでみてください！おすすめです!!			
	全部	454P (454分)	できれば全部読んでほしい	2013/04/11 13:17:02

ほしほし ☆☆☆☆☆	奈良県的女子高へ転勤を命じられた主人公の教師。言葉を話せるシカや、不気味な生徒たちに翻弄されながらも、神様の命に従って活躍する。ファンタジーの小説であるけれども、自分も同じ境遇になってみたいなと感じた。読んだ後は爽やかな気分になれる、青春ストーリー。			
	1-394	394P (200分)	1-9ページ	2013/04/10 00:23:42

[TOP](#)へ



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- 映画一覧
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

有頂天家族

著者名	森見登美彦	発行年	2007年
出版社名	幻冬舎文庫	ページ数	423ページ
値段	720円	ISBN	978-4344415263
コメント	この世の中は天狗と狸と人間から成り立っています。 三択だよ、って言われたら、何になりたいですか。 ゼツタイ狸を選びたくなる。狸になって偽獣電に化けて寺町通りを爆走して「それは阿呆の血のしからしむところだ」って何々大笑してみたくなる。たとえ狸鍋にされても。きゃーッ。 章ごとに独立でも読めます。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
万年筆 ☆☆☆☆	4年ぶりくらいに森見作品読んだので、すごく懐かしかったです。どことなく固いけどリズム感があって、読者を引きずり込むという森見節が全開で読みやすいです。			
	森見ときくと、冴えない文学青年のドタバタ恋愛劇みたいなイメージがあったのですが、今回の本のテーマは家族愛で、変化球投げられた気分になりました。この本の話のどまんかには常に家族愛というものがあるので、読み終わるとぼかぼかした気持ちになれます。			
	全部	423P (180分)		2013/07/30 23:49:34
neueziel ☆☆☆	独特な話で読んだあとほんわかする			
	全部	423P (200分)		2013/07/30 15:05:52
ゆー ☆☆☆☆	物語とかって難しく長い一文にする必要がないと思っていて、森見さんの書き方って歯切れが良い というかさっぱりする！ 太宰の「猿が島」とか思い出します。 暇つぶしとしてはもってこいの作品。ただ、物語に深い意味があるかって言われると… お酒の席で面白い話を聞くような感覚で読めればいいんじゃないかなー？			
	1章	53P (30分)		2013/07/26 18:33:53
	章ごとにゆるやかに独立しているので、好きなタイトルを。ただ登場人物紹介のために1章は読んだほうがいいのか？			
	他の作品とリンクしている箇所を発見できたので、他にはないか気になっている。			

フラン ☆☆☆☆	文体としては程よくボケているので、カチッとした文章が好きな人にはおすすめしにくいかと。逆に、片鱗片鱗でクスッと笑わせてくれるものが好みの人にはおすすめしてもいいと思います。 天狗・狸・人間ですか……。 蛙も捨てがたいですが、私は天狗かな？ 「面白きことは良きことなり！」と騒いでいる人間が一番しっくり		
	7-307	423P (180分)	2013/07/21 23:50:02

初楼 ☆☆☆☆	痛快。その一言に限ります。 積み上げてきた積み木を一気に崩す時のようなあの爽快感。はちゃめちゃだけど、それがいい。そんな読後感でした。 「面白く生きるほかに、何もすべきことはない」 個人的には非常に好みでしたが、とても人を選ぶ作品だと思いますので☆☆4で。		
	全部	423P (420分)	2013/07/12 01:03:20

PON ☆☆☆☆☆	主人公である狸の下鴨矢三郎の軽妙な語りがいい。 一気に読んでしまう。		
	全部	417P (200分)	2013/06/29 23:01:08

マルメロ ☆☆☆☆☆	随所に他の作品のワードがちりばめられ、とても素敵な女性が登場し、特有の軽快な語り口があり。 期待を裏切らない作品だったと思います。		
	全て	423P (120分)	2013/06/28 00:03:10

フェリー ☆☆☆☆☆	著者の独特な書き方に惹かれました。 とても面白く、サクサク読めました。 時間的に全て読みきれなかったことが残念です。		
	1-100	100P (60分)	2013/06/25 22:35:41

ねりものや ☆☆☆☆	とにかくテンポが良い。 全体の語り口調のおかげでストーリーに簡単に入ることができ、味のある情景が目には浮かぶ作品だった。		
	全部	423P (300分)	2013/06/04 15:27:36

recald ☆☆☆☆	この主人公は、見方によっては結構辛い人生を送っている気もするが、性格で得をしていると思う。		
	全部	423P (240分)	2013/06/03 12:26:32

コアラ ☆☆	森見ワールドにはまれず、挫折しました。		
	1-70	70P (40分)	2013/05/29 02:38:36

Shushu ☆☆☆	とても読みやすく独特の世界観に引き込まれた気がした。 狸の兄弟のそれぞれのキャラクターが面白く、狸のくせに妙に人間臭い感じにとっても愛着がわいた。ちなみに7月にアニメ化するらしいのでとても楽しみ！		
	423	423P (300分)	2013/05/12 17:36:11

kabadie ☆☆☆☆☆	森見ワールド。 言葉が文章ではなくリズムで頭に入ってくる。 決して簡単な言い回しが多いわけではなく、面倒くさい表現があったりもするのだけれど、なんだか日本語っていいな、と感じる。			
	1-423	423P (240分)		2013/04/23 20:29:14
555 ☆☆☆☆☆	森見登美彦さんの「夜は短し歩けよ乙女」まど、京都シリーズを読んだことがある人は、関連する内容があり、おもしろい。 言葉の言い回しが独特で、はまります。			
	1-420ページ	420P (300分)		2013/04/15 10:37:13
ひゃくたむ ☆☆☆	森見さんの作品はどれも面白く、この作品も確かに面白かったが、そこまで印象深くはなかった。 本当は☆4だが、他作品が強すぎて☆3にしました。			
	全部	423P (240分)		2013/04/12 02:53:59
ほしぼし ☆☆☆☆	京都下鴨神社に代々生活する狸の一族。一癖も二癖もある下鴨四兄弟だが、常にお互いのことを気に留めていて仲が良い。そんな兄弟たちが、宿敵夷川家と対決することに。京都を飛び回る痛快なファンタジー小説。狸になった気持ちで、森見ワールドに飛び込んでみては如何。			
	1-423ページ	423P (340分)	1-12ページ	2013/04/10 00:25:10

[TOP](#)へ



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- 映画一覧
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

ゴールデンランバー			
著者名	伊坂幸太郎	発行年	2007年
出版社名	新潮文庫	ページ数	690ページ
値段	900円	ISBN	978-4101250267
コメント	花丸付き「たいへんよくできました」な、ひたすら逃げる物語。人はひとりだけれど、ひとりじゃない。世界はとてつもなく不条理で、自分という小さな存在を容赦なく押し潰しにくるけれど、過ごしてきた日々に関わりを持った人たちが、どこかで自分を応援してくれていて、さりげなく助けてもくれる。逃げて逃げて逃げて逃げて、よれよれへとへとなりながら、ふっと心が軽くなる、そんな体験をしました。——人間の最大の武器は習慣と信頼だ。		

ペンネーム お勧め度		コメント		
		読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント
candy ☆☆☆	物語の大半が逃亡を続けるシーン。しかし、逃亡劇の中に、思い出が語られていき、どんどんこの小説に引き込まれてゆきます。さすが伊坂幸太郎。ただ、読んでいてもとても疲れました。			投稿時間
	1-690	690P (300分)		
ゆー ☆☆☆☆☆	「これが伏線なのか！！」思わず叫びたくなるようでページを捲るのが楽しくなります。小説の物語なんて所詮ありえない話なんだから、これくらいしてくれないと！伊坂幸太郎好きになりました。			投稿時間
	全部	690P (350分)		
AM5:42 ☆☆☆☆	映画で見たのが先だったが、原作も読み応えがあった。とくに逃げるシーンの表現が個人的には印象的。			投稿時間
	全部	690P (200分)		
massa ☆☆☆☆	ありえない話ではあるけど、ストーリーの構成がしっかりしていて矛盾なく楽しめました！			投稿時間
	全て	690P (180分)		
こだま ☆☆☆☆☆	映画が先でした。原作も理不尽な展開ながら読む手を止められず一気に読んでしまった作品でした。最後の「たいへんよくできました」は何とも言えない読了感があったように思います。			投稿時間

	全て	690P (300分)		2013/07/09 17:49:00
recald ☆☆☆☆☆	主人公の心が何度も折れそうになるが、ギリギリのところでも毎回「もう少し頑張ってみようかな」と思えるような事が起こる。読者としても、その度にもう少し先を読みたくなる。			
	全部	690P (330分)		2013/07/08 14:28:37
pinpon ☆☆	小説を読んでみようと思ったが結局挫折、また挑戦したい			
	1-40	40P (30分)		2013/07/01 16:55:22
ねりものや ☆☆☆☆	まさにオズワルド事件。ちょうどこれを読んでいた時に、遠隔操作ウィルスの事件があったので、世の中の事件報道がどれほど信じられるものなのか、少し怖くもなりました。			
	全部	690P (300分)		2013/06/04 15:38:14
neueziel ☆☆☆☆☆	長かったけど非常におもしろかったです。はじめの方である程度この先のネタばらしをして、いたいこの先どのように物語が展開するかとワクワクさせられた。読んでる時いらない思い出話とかいらないからさっさと話を進めて欲しいと思ったが、それが思わぬ伏線であることが何度もあって驚かされた。元カノが主人公を影から助けるっていう展開は非常に燃えたがご都合主義が多いなと思ったのが唯一気になった。 ページ数が多かったので2冊分にしてほしいです。			
	全部	700P (450分)		2013/05/14 18:50:54
quench ☆☆☆☆☆	伊坂ワールドに引き込まれました。数々の不条理が逃げる様がすごくスリリングで、読んでて続きがすごく気になりました。			
	全部	690P (300分)		2013/05/11 18:40:15
ほしほし ☆☆	伊坂ワールドに浸ってみたいくて読んでみました。主人公に襲いかかる不条理がスリリングで、どんどん読み進めることができました。ただ、伊坂さんの言葉遣いや文章が、自分にははまらず腑に落ちない感じです。星二つ。。。			
	1-690ページ	690P (170分)	1-10ページ	2013/05/07 09:27:58
あきう ☆☆☆☆	最初は伊坂ワールドのすっきりしない感じに慣れなくて、もぞもぞしたけど徐々に引き込まれました。最後は安堵で泣いてしまいました。でもやっぱり読むと疲れるので星4つ。初めて伊坂さんの本を読むなら絶対ギャングシリーズ(映画も)がおすすめ!!! さらっと読めるけど浅くないし、最後まで飽きません。			
	全部	690P (180分)		2013/04/23 17:40:03
おいしい ☆☆☆☆☆	大きな力から逃げる緊張感、切迫感が文字から伝わってきました。生きるためには、逃げるしか無い。そんな状況に陥れられたら自分ならどうするか? 考えさせられました。理不尽にも自分を捨てて生きることになった青柳さんには、幸せになって欲しいです。			
	全部	690P (300分)		2013/04/22 17:25:08
いわし ☆☆☆☆	次々に降りかかる不条理から逃げ続ける話、スリリングで楽しめました。			
	全部	690P (500分)		2013/04/15 21:18:33
	映画も見ただけど本の方が私は好き。			

iksk ☆☆☆☆☆	最初は何か何だかどういことなのかわからなかったが、読み進めるうちに止まらなくなる。 読んだ後街に出ると、自分もどこかで監視されているのではとちょっと不信感に陥ります。		
	全部	690P (540分)	2013/04/13 11:03:55

ひゃくたむ ☆☆☆☆☆	逃げるが勝ちってね！強大すぎる敵には正面から勝てない。 アドベンチャーな要素を織り交ぜつつ、伊坂さんっぽいコミカルな文章が面白い。		
	全部	690P (330分)	2013/04/12 02:49:50

[TOP](#) ^



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- 映画一覧
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

神様のカルテ 1 2 3

著者名	夏川草介	発行年	2010年
出版社名	小学館文庫	ページ数	522ページ
値段	2,050円	ISBN	978-4094086188
コメント	ものがたり、だけれど、真実。 今この瞬間、あの町でこうやって生きている人たちがいる。 信州の清冽な空気のなかに、あたたかな涙を流れます。 「良心に恥じぬというだけが、我々のたしかな報酬だ」——こんなふうに仕事をしたい。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
river.i ☆☆☆☆	暖かくもあるけれど突きつけられる現実。 医療現場の大変さ、助からない命を目の当たりにする悔しさ。 医療関係に興味があるので読んでよかったと思える本でした。			
	全て	522P (360分)		2013/07/31 11:11:39
こだま ☆☆☆☆☆	とても温かい話です。過密スケジュールの医療現場や死の在り方などテーマとして重いものもありますが、読んでいるときにはその重さを感じさせずスルスルと読んでいました。			
	1巻のみ	160P (90分)		2013/07/26 22:29:38
しろ ☆☆☆☆☆	地域医療の現場で自分にできることを精一杯やっていく医師を描いた物語。よくある話ばかりと言われればそれまでかも知れないが、患者との関係や医師間の人間関係などがうまく書かれていて話題になっているだけのことはあると思った。温かい気持ちになりたい人やこれからどうすればいいか考えている人にはおすすめ。			
	1.2.3巻	522P (540分)		2013/06/28 19:07:20
蛭田 ☆☆☆☆☆	正直、好みは分かれるかもしれないと思ったが、久しぶりに感情を動かされた。 山あり谷あり、という展開ではないが、だからこそリアルで感情移入するのに時間はかからなかった。 一番良かったのは学士殿との別れの場面だった。 ネタばれになりそうなのであまり言及はしないでおくが、とにかく多くの人に読んでほしいと思え			

	る作品だった。			
	1巻	160P (180分)		2013/06/13 15:43:31
555 ☆☆☆	ほんわかしたお話。個人的にはもっとパンチがあつたり人の悩み葛藤が強く描かれても良かったか もと思う。じんわり、ぼんやりと考えさせられるお話。			
	160p	160P (70分)		2013/06/10 16:23:57
kabadie ☆☆☆☆	学士殿とドクトルのくだりに感動。 まくし立てる言葉のリズム感と、古めかしくも愛のある言葉遣いに心打たれました。 ハルみたいな細君がほしい。			
	1巻全部	160P (120分)	147-172	2013/05/28 13:11:41
初楼 ☆☆☆☆	『やまない雨はないんですから』 1、2巻までは「医者のあるり方」「生命への向き合い方」を描いていた本作ですが、3巻では「人 間としてのあり方」「挫けてしまった人間の再生」をテーマに描かれていたように思います。 一見短篇集のように見えますが太い一本の軸の元ストーリーが展開されており、作者の持ち味であ る古風で堅い文章で描かれる信州の自然は相変わらず美しい。そして登場人物が皆個性的で彼らの 掛け合いも楽しめる中々贅沢なシリーズだと思います。			
	神様のカルテ3（全 部）	382P (600分)	83-158/335-344	2013/05/24 23:43:01
Eve ☆☆☆	話題作なので手にとってみたが、期待していたほど面白くはなかった・・・でも人の温かさが伝わ る物語ではある。続編をよくか迷ったが、これからどういう展開になるのか気になったのでとりあ えず挑戦！			
	1巻 全部	160P (150分)		2013/04/26 07:55:58
あきう ☆☆	話題作だったので期待して読んだらまったく面白くなかった。なんか……浅いです。私にしては珍 しく続編も読む気がしない。同じ医療系ならバチスタシリーズのがよっぽどお勧めです。方向性は 違いますが。ほっこりしたのがさらっと読みたい人にはいいかもしれない。映画の宮崎あおいが可 愛かったので星2つ。			
	1巻 全部	160P (120分)		2013/04/23 17:35:41
マルメロ ☆☆☆☆☆	舞台は医療現場で病気や生と死を取り扱っていながらも 全体としてほんわかした読みやすい小説でした。 主人公とその細君であるハルの会話には癒されます。			
	一巻	160P (70分)		2013/04/22 13:45:55



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- 映画一覧
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

麒麟の翼

著者名	東野圭吾	発行年	2011年
出版社名	講談社	ページ数	325ページ
値段	1,600円	ISBN	978-4062168069
コメント	はじめ：いきなり日本橋！派手な舞台装置でわくわく。 なかば：地道着実。推理の積み上げ、加賀さんかっていい。 ラスト：いくつもの家族ドラマの重奏にしみじみ。 王道ですね。さすが定評ある作家さん。ミステリー好きのみなさまに。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
river.i ☆☆☆☆	映画を見たことがあったのでわりとすらすら読めました。 いくつもの出来事が最終的に1つに収束していく。 ただ事件の解決をみてそうだったのかと思うだけではなく そこに感動要素までいれてくるのは、さすが東野圭吾。 本が得意でない人は映画みてからのがいいと思います。			
	全て	325P (120分)		2013/07/31 11:02:36
コアラ ☆☆☆	大好きな東野圭吾シリーズ！この授業で読む最後として大切にとっておいたのに、時間がなく途中までしか読めませんでした。残念。ストーリーも導入部分で終わってしまったため星は3つ。ですが東野圭吾の作品は平易なことばで綴られることが多いので、テンポよく読めました。物語の序盤で起こった2つの事件は、後に関連性を持つのだろうなということしかコメントできません。 ゆっくり時間ができたら改めて読みたいと思います。			
	途中まで	45P (30分)		2013/07/31 08:12:39
ゆう ☆☆☆☆☆	謎が一つ一つ明らかになっていくにつれ感情移入の度合いが高まっていった。読んだあとに読み返してしまうあたり、すごいよくできた作品なんだと思う。			
	すべて	325P (270分)		2013/07/31 00:54:00
neueziel ☆☆☆	ドラマよりおもしろかった。こういう小説は序盤があまりおもしろくないのがつらい。			
	全部	325P (200分)		2013/07/30 15:02:53

ゆー ☆☆	東野圭吾の作品をなんとなく懸念していましたが良い機会なので読んでみました。 ミステリーって読み終わった後のゾクゾクする感じや、「なるほど！」って思わされたりしながら、読んでいくラストが好きなのですが、この作品ではあまりそれを感じることができませんでした。 これは個人的主観なのですがミステリーとかの部類って初めの方に犯人を出さないとインパクトにかけるといのか・・・ 宮部みゆきのR.P.Gとか映画のシックスセンスみたいな「これかー！」という唸られるようなラストがほしかったです！		
	全部	325P (240分)	2013/07/22 13:00:50

kabadie ☆☆☆☆	加賀シリーズの中では長編ということもあり読みごたえがあった。 初期の作品では必要以上にハードボイルドに書かれていたりする加賀さんですが、本作では人間味あふれるシーンが見られて、登場人物の意外な一面を見たという感じでした。		
	全部	325P (180分)	322 2013/07/19 15:56:08

recald ☆☆☆☆	主人公だけでなく、他の色々な登場人物の視点を書いているところが面白いと思った。		
	全部	325P (210分)	2013/06/18 17:32:33

0120086144 ☆☆☆☆	これはドラマを見ていたので結末を知りながら読んでいた。結末に関わる場所が出てくる場所まで読もうと思って読んでいて、それでほしい250pくらい。 冗長？		
	1-250	250P (50分)	映画の試写会の抽選に あたりやすい方法 2013/06/13 16:33:11

蛭田 ☆☆☆	東野圭吾の作品は中学のころに結構読んだ覚えもあったので特に躊躇もなくすんなり読み進めた。 が、何となく物足りなさを感じてしまった。 ただ自分の好みに合わなかっただけとは思うが・・・		
	全部	325P (420分)	2013/06/13 16:05:56

フェリー ☆☆☆☆☆	ドラマ版はあまり面白く思わなかったのですが、本で読んでみるととても面白く読めた。予想外の結末でした。		
	全部	325P (300分)	2013/06/04 01:37:08

曦 ☆☆☆☆	優秀な刑事、探偵になるなら、どこまでの知識が必要なの。これを見たら、作者の東野圭吾の頭に、データベースが何GBあるかという疑問も抱いています。 実は、推理より、現実を中心にするミステリーです。言い換えれば、文学作品と近い。 話題になれるために、メディア側は現実を無視し、香織に「八島が犯人だ」というような発言をされました。 先生は。。。 (ネタバレ！！中止！) 最高の東野圭吾ではありませんが、優秀の作品です。		
	全部	325P (300分)	2013/05/28 17:57:58

ショーコール ☆☆☆☆	映画を見ていたので内容は知っていたのですが、それでも楽しめました。悪い事をしたらしっかり反省しなくてはならないという当たり前の事ですがそれを確認させられました。東野圭吾シリーズではガリレオ一筋だったのですが、他の加賀さんシリーズも読みたいくなりました。		
	全て	325P (160分)	2013/05/16 01:30:47

まるちぷる ☆☆☆	東野圭吾の最高傑作は、依然『天空の蜂』ですが、麒麟の翼もなかなか良かったです。特に大きな驚きもなく、複線も見通し良く、風呂敷も広げすぎておらず、要はマイルド。非常に読みやすいです。 この作風、映像化が映えるのでしょうか。出てくる地名をググって様子を楽しみながら読むと、大体2時間かかります。僕のように映画が苦手な人でも（あれは暴力装置だと思いますこわい！）、こういうやり方なら疑似体験できてよいです。おすすめ。 あと本好きにとってたまらないのは装幀ですね。いつもの岡孝治さん、これはすごい。メタリック調のカバーも勿論ですが、それを外すと……！			
	全て	325P (120分)	p.279	2013/04/22 09:57:29

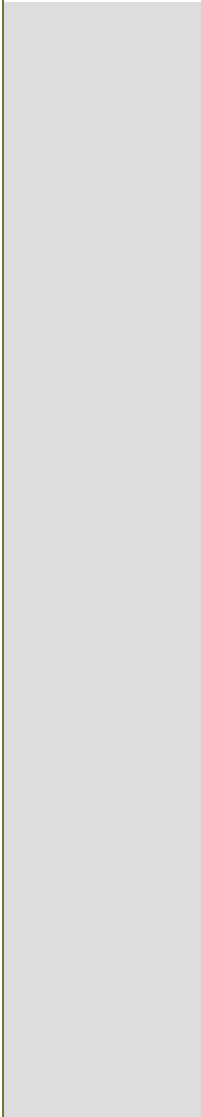
joker00 ☆☆☆☆	東野圭吾らしいミステリーというか。 物語が進むにつれて謎が紐解けていく感じが実に心地よい反面、隠されていたメッセージが悲しくもあり.... 映画とは一味違う原作ならではの良さがあると感じる作品になっている。 麒麟の像をぜひ一度自分の目で見てみたいと思った。			
	全部	325P (150分)		2013/04/15 17:32:36

ほしぼし ☆☆☆☆☆	東京日本橋にある麒麟の下で男性会社員の刺殺体が見つかる。警察の捜査が及ぶにつれて、彼の会社の労災隠し、息子の周りで起こった不可解な水難事故、水天宮の千羽鶴などのピースが現れては、一つに収束してゆく。命の尊さと、生きるという事について深く考えさせられるミステリー。			
	1-330ページ	330P (178分)	1-13ページ	2013/04/10 00:26:41

[TOP](#) ^



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- 映画一覧
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板



下町ロケット

著者名	池井戸 潤	発行年	2010年
出版社名	小学館	ページ数	407ページ
値段	1,785円	ISBN	978-4093862929
コメント	爽快に大空へ。 大田区が舞台のものづくり物語。企業の競争や特許のこともちょっと分かるし、見知った地名がちらほらあるのも親しみやすいし、人生観も深くて、さわやかに読み終われる直木賞受賞作。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ゆう ☆☆☆☆☆	最後の「実験、成功」で、心が震えた。こういう、執念めいたものをもつ大人になりたい			
	すべて	407P (360分)		2013/07/31 00:56:49
はな ☆☆☆☆☆	資金難、新規性(特許問題)、人間関係。大学で研究をかじっている程度の自分でさえ感じた問題だったので、中小企業故の困難は凄まじいものでした。それでも、やり遂げられるのは「仕事」ではなく「夢」だと思えるほどの情熱があるからですね。研究の行きつく先に対して、これほどの情熱を持ってない自分はやはり研究者・技術者には向いてないのだなと改めて実感。困難続きにみえても本作はしっかりと集束していくので、現実はまだ小説以上に厳しいのではないかと考えると…。			
	全部	407P (270分)		2013/07/12 12:30:07
daaasuuu ☆☆☆☆☆	夢か現実か、という問題から働くとはどういうことかを教えてください。 若手社員が会社に不満を持ちながらも、自分の仕事にプライドを持って取り組んでいく姿に胸が熱くなりました。			
	全部	407P (360分)		2013/07/05 23:09:19
ねりものや ☆☆☆☆☆	話の八割は何ともムナクソ悪い。なんでこんなにも嫌な奴らがたくさん出てくるんだよと、結末は何となくわかってはいるものの、主人公とともに何度絶望感を味わったことが… その分クライマックスの気持ちよさはひとしお。最後の花束で完全に佃社長と一緒に泣いてしまった。 これほど気持ちのいい、まさに娯楽小説も久しぶり。			

	全部	407P (240分)		2013/06/04 15:32:58
recald ☆☆☆☆☆	読む前は明るい話だと思っていたが、暗い内容：明るい内容＝9：1だった。社内での意見対立が仕事への燃料に変わっていく様子がいい。			
	全部	407P (240分)		2013/05/20 20:42:33
iksk ☆☆☆☆☆	最初は正直読むのが全然進まず、 でも読んでいるうちに引き込まれました！ さすが直木賞。 主人公の誇りに感動。夢と現実、愛と家族。 おすすめです！			
	全部	407P (200分)		2013/05/16 01:16:24
マルメロ ☆☆☆☆☆	始めのほうは盛り上がりにつけ、もやもやとした感じがして面白くない、と感じました。 しかしラストに向けての追上げには引き込まれました。 内容も理系として考えさせられるものでした。 技術者を目指すなら読んでみてほしいです。			
	全て	407P (120分)		2013/05/12 22:27:44
ひゃくたむ ☆☆☆☆☆	皆さんが☆5をつけている中、天邪鬼な精神により☆4にしました。少し厳しめに言うと前半の特許訴訟の話と後半の技術の話のリンクが少し弱かったように感じた。 ただ中小企業の技術力という日本人が誇るテーマが私の心に響きました。想像している中小企業の悩みと葛藤が全て描かれていたと思います。著者の他の本も面白いと聞いているので、是非読んでみたいと思います。			
	全部	408P (150分)		2013/05/07 21:27:24
しろ ☆☆☆☆☆	研究者としてやりたいことをやるのか、経営者として社員のために利益を追求するのかと、いろいろな葛藤の中頑張っている社長の物語。個人的には前半の経営者的な話よりも後半の技術者的な話のほうが面白く読めた。 失敗したことでも、何らかの形で関わり続けていれば結局はそれが経験として後の人生に生かされる。こんな1本芯が通った人生が遅れたら幸せだろうなと思いました。			
	全部	407P (180分)		2013/05/07 17:27:18
ショーコール ☆☆☆☆☆	読み始めたら、内容に引き込まれあっという間に読み終わりました。主人公の技術者としてのプライド、また夢を諦めずに挑戦する姿勢が素晴らしかったです。夢に向かって頑張ろうという気持ちになりました。佃さんの仕事と二階建ての家だという言葉がとても印象に残りました。			
	全て	407P (200分)		2013/04/23 10:56:00
あきう ☆☆☆☆☆	技術者が素人に技術を教えることが大事だけれどもいかに難しいか、理系としてはかなり身にしみる本。最初から最後まで飽きることなく話題が移り変わり、ストーリーが上手く広がっていくので読みやすいです。仲間との協力シーンもけっこうおすすめ 最後は感動して涙が止まりませんでした。こんな自分の技術に誇りをもてる研究者になりたいと強く思います。			
	全部	407P (180分)		2013/04/09 21:01:26



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- 映画一覧
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

舟を編む

著者名	三浦しをん	発行年	2011年
出版社名	光文社	ページ数	259ページ
値段	1,575円	ISBN	978-4334927769
コメント	祝本屋大賞2012!! 辞書づくりてんやわんやのお話。ラノベチックなほんわか展開もあるけれど、キャラクターごとの視点の使い分けで世界観がしっかり組み立てられています。 しをんさんの職場案内は、自分にふさわしい働き場所を探す就活にもとても有用でしょう。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
river.i ☆☆☆☆	最初のほうの思春期に気になる単語を辞書でひくというのを読んで あー一笑となりました。 主人公だけでなく他の登場人物も個性的？なので 少し頭がこんがらがりますが、その分面白いです。 辞書をつくる話だけあってたまに言葉が難しいなと思いました。			
	全て	259P (150分)		2013/07/31 10:57:26
万年筆 ☆☆☆☆	辞書作りという、なかなか小説のテーマにならないものを扱っていて、話題そのものも楽しむことができました。 すこし不満だったのは、主人公の恋の話が、物語全体の盛り上がりと関係なく、あっさり序盤で片付いてしまったことです。別に恋愛小説ではないので、そこまでは求めないのですがこれだとすこし拍子抜けしてしまいます。 ただ、主人公を中心とした人間関係の描き方は秀逸でした。ひとつの才能に突出した主人公の不器用な姿に最初はなかなか理解を示さない周りの人達が、徐々に主人公の魅力に気づいていき、自発的に主人公を支えていこうとする姿は胸に来るものがあります。主人公も周りに支えられて成長していき、最後のほうは読んでいるこちらが誇らしくなります。			
	全部	259P (180分)		2013/07/30 23:34:01
潤 ☆☆☆☆☆	とても読みやすく、文脈も日本語の言葉遣いもとてもすばらしいと思います。これを読んだら、辞書を買って占めたいと思った			
	全部	259P (259分)		2013/07/30 15:34:48

zin ☆☆☆☆	普段、何げなく使っている辞書を題材にしているが、それはものすごい努力の結晶なんだと。そういえば小学生のころ辞書読んでたなー。		
	全部	259P (270分)	2013/07/24 12:09:27
Shushu ☆☆☆☆	とても面白かったし、なにより読みやすかった！ 辞書編集の仕事を題材にする本はあまり見たことがなく、そこにまず興味がわいた。 実際読んでみて、辞書の編集の大変さを知る一方で、言葉の一つ一つの意味の大切さも同時に痛感させられた。 恋愛要素も入っていてとても満足でした。		
	全部	259P (259分)	2013/07/18 23:01:28
daaasuuu ☆☆☆☆☆	辞書作りという普段全く考えないような仕事に焦点を当てた作品。 確かな取材をもとにした細かな描写や登場人物それぞれのキャラクター、たまに入ってくる軽いジョーク、そしてこの「舟を編む」という題名、どれも素晴らしい。 本の表紙からもこの作品の本気度が伝わってくる。		
	全部	259P (259分)	2013/07/17 17:49:46
pinpon ☆☆☆	いつも言葉で頭がいっぱいの主人公が面白かった。辞書で『男』と『女』を調べたことは自分もありました。		
	50ページくらい	50P (40分)	2013/07/04 18:31:13
quench ☆☆☆☆☆	辞書編集部といった聞き慣れない部署を中心としたお話。自分の心に決めたものに一生を捧げる様に感動した。物語の構成や展開も素晴らしく、本の世界に引き込まれるように時間を忘れて一気に読んでしまいました。		
	全部	259P (200分)	2013/07/03 19:25:59
マルメロ ☆☆☆☆☆	この本の主人公のように本気になれるものが仕事で見つかったら幸せだろうと思います。本を読んでいて、なんだか辞書をじっくり読んでみたくなってきました。		
	全て	259P (180分)	2013/06/28 00:06:46
フェリー ☆☆☆☆	辞書って普段何気なく使っているものだけど、自分で作るとなると大変そう・・・。面白かったのですが、時間が足りず、全て読みきれなかったことが残念です。		
	1-68	68P (40分)	2013/06/25 22:44:27
はまじ ☆☆☆☆	私は馬締さんが香具矢さんという美女をゲットできたのが羨ましくて仕方なかったです。ラブレターで「虞や虞や、若を奈何せん」を応用し想いを伝えるなんて、オタク的な感じです。彼女は、主人公の好きなところを「辞書に全力を注いでいるところ」と言っていますが、言語能力に優れていて甘い言葉をかけられるわけではありません。しかし、彼女は主人公に惚れてしまいます。きっと世の中にはこのような女性がいるということなのでしょう。オタクな僕たち東工大生にもチャンスはあります。自分の研究分野を応用し、私も愛のフレーズを考えました。 「君といると、僕の特性方程式の根の実部が、全て負になってしまうよ。」		
	1-259	259P (240分)	182-185 2013/06/17 20:18:04
この本は今まで僕が読んだ日本語の本の中で、一番難しいものです。 原因は、辞書を作る物語のみならず、普段で用いた言葉も僕にとって難しいです。			

曦 ☆☆☆☆	日本語の勉強に対していい本かもしれませんが、小説ですから、途中で辞書で調べることが多すぎるなら、僕の読み方とは外れてしまいます。			
	1－100	100P (150分)		2013/06/09 22:01:52
ショーコール ☆☆☆☆	登場人物のキャラが全員魅力的です。特に西岡は、自分と似ている所があって感情移入して読んでしまいました。辞書にかける思いということが伝わり、とても深い世界なのだなと思いました。まじめ＝松田龍平というのはとても合っていると思います。			
	全部	259P (180分)		2013/06/09 13:04:20
ねりものや ☆☆☆☆	文句なしに面白かった。登場人物全員が魅力的過ぎて、この辞書編集部で働きたいとさえ思った。			
	全部	259P (180分)		2013/06/04 15:40:29
PON ☆☆☆☆	読むのに夢中になった小説。 辞書の作成がテンポよく書かれているので、読みやすい。			
	1-259	259P (180分)	182-184	2013/06/04 10:37:31
はな ☆☆☆☆	とても良い。辞書をつくることの大変さや、それに従事する人々の熱意が伝わる。一章から五章にかけて章ごとに焦点を当てる人物が変わることで、各登場人物における主観と客観を両方読むことができる。加えて登場人物がそれぞれ魅力的なので、すんなり感情移入できました。自分もこんな風に仕事と趣味の垣根を超えて働きたいなと思います。 西岡さんの、軽く見せるけど実は繊細な部分は結構共感。 装丁にも意図があって、また一つ感動。 とても気に入ったので、先週末に映画も観てきました。原作を割と再現できていて、辞書や広告が形になっていく過程なんかは映像ならではの感動があります。しかし、やっぱり言葉がテーマの作品だけに原作を超えるには言葉足らずな気もしました。それと個人的な感想ですが、どう考えても香具矢さんのキャスティングは宮崎あおいではないと思う。映画の感想まで失礼しました。			
	全部	259P (210分)		2013/05/27 16:17:28
recald ☆☆☆☆	「辞書編集部を外されても編集部の役に立ちたい。」という気持ちに感動する。何かに一生懸命取り組む人間の魅力がすごく伝わってくる。			
	全部	259P (150分)	142－145	2013/05/14 15:23:46
ちょんまげ ☆☆☆☆	松本先生「言葉は、言葉を生み出す心は、権威や権力とは全く無縁な、自由なものなのです。略」この一言にハッとしました。自由な意志で編まれた言葉によって、紡ぎ出される人の記憶。人類の生産活動の全てを支える「言葉」の大切さと、「言葉」に人生をかける人々の姿勢の尊さを考えるきっかけになりました。			
	全部	259P (150分)	226	2013/05/11 22:27:07
こだま ☆☆☆☆	恋に辞書にと奔走する馬綿光也 厨人の道を歩む林香具矢 辞書に生涯をささげた松本朋佑 寒い中外に出されたねこのとらさん など登場人物、動物の個性がすばらしい。中でも、辞書づくりで「名より実をとる」中岡正志の姿勢はカッコいい！！			
	すべて	259P (120分)		2013/05/08 15:44:33
何回読んでもまじめさんに恋します←嘘です				

あきう ☆☆☆☆☆	涙もろい人は泣くと思います。私は最後やっぱり泣きました。どんなことでもどれだけ時間がかかって最後まで成し遂げるってやっぱり感動します。 でもお勧め場面は「恋がかなったところ」です。 エッセイでは意味わかんない支離滅裂な文章(でも面白い)を書き連ねてるのに、こんな大衆受けしてる本も書ける三浦しをんさんは最強だと思います。		
	全部	259P (100分)	2013/04/23 17:53:23
コアラ ☆☆☆☆☆	一冊の辞書を編纂する人にまつわるストーリー。辞書はただ分厚くて単語の意味が羅列してあるだけだと思っていたけれど、長い歳月を経て大切に編まれていることを知った。また言葉の意味を深く考えることで、再発見をし言葉を大切に使うことができると思った。単語だけでなく、漢字や平仮名、カタカナの成り立ちなど普段深く考えずに使っている言葉を、もう一度見直したいと思わせてくれる作品だった。		
	全部	259P (180分)	2013/04/23 12:29:52
555 ☆☆☆☆☆	たくさんの人々の、ひとつの物の完成にかける想いに心を打たれます。登場人物全員が、魅力的に描かれているので素直に応援したくなる本です。最後まで読んだとき、タイトルがもっとすてきに思える作品です。		
	全部	259P (180分)	2013/04/18 16:14:12
おいしい ☆☆☆☆☆	映画化もされるとのことで読んでみたいと思っていた本です。地味で不器用ながらも「舟」の編纂に人生を懸ける、一つの筋を通す生き方に、憧れを感じました。各登場人物の個性も引き立っていました。特に西岡さん。一見軽口を叩いてばかりの西岡さんですが、実際は人一倍「舟」への情熱を持ち、同僚思いであるところに魅力を感じました。映画も是非見ようと思います。		
	全部	259P (200分)	2013/04/15 00:36:22
初楼 ☆☆☆☆☆	登場人物がくっきりとしており、三人称視点で描かれる各々の「辞書」に対する熱い思いがそれぞれ伝わってきて、小説として十分に面白かったです。 まず度肝を抜かれたのが冒頭の荒木さんの「犬」という言葉に対する思考の流れ。普段当たり前のように使っていて、むしろ当たり前すぎて意識さえもしなかった言葉たちに対する好奇心。その2ページだけでさえ完全にこの本に飲み込まれました。		
	言葉で何かを説明する。当たり前のことだけど、よくよく考えれば不思議なことだと思います。言葉で何かを説明するのは本当に難しい。でも言葉を編み出さないと何も生まれない。何も伝えられない。きっと世界は言葉でできているのかもしれませんが。 そんな「言葉」というものを言葉で説明する辞書という存在。ずっと本棚にしまい込んだり、酷い時には重しにしたりしてきてしまったけれど、改めて手にしてみると、ずっしりとした確かな重みを感じられました。		
	全部	259P (200分)	3-4/64-66/182-185 2013/04/14 22:43:19
しろ ☆☆☆☆☆	日本語の難しさ、美しさに改めて気付かされる本。登場人物ひとりひとりのキャラも魅力的で、一旦読み始めたら一気に最後まで読んでしまった。さすがは本屋大賞受賞作品。 ちょうど映画も公開されたので時間を見つけて見に行こうとおもう。		
	全部	259P (200分)	2013/04/10 17:00:24
joker00 ☆☆☆☆☆	久々に時間を忘れて読んだ本です。 登場人物の生き生きと動く姿、個性が面白いほどに伝わってきます。言葉というものの繊細な部分に改めて気づかされたような...。度重なる苦節を経て完成へと向かうラストはもう感動です。 読み終わると思わず辞書を捲ってみたくなる気がします。		
	全部	259P (180分)	2013/04/10 01:41:35

ひゃくたむ
☆☆☆☆☆

普通に良作。普段全く関心のない辞書作りなるものに焦点を当てていて、こんなにも作るのが大変なのかと思わせてもらえる。きっと著者の取材が凄いだろうと思う。
仕事に地味も派手も苦楽も貴賤もないという当たり前のことをわからせてもらいました。

全部	259P (120分)		2013/04/09 20:17:32
----	-------------	--	---------------------

[TOP](#) ^



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- 映画一覧
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

ビブリア古書堂の事件手帖 1 2 3 4

著者名	三上 延	発行年	2011年
出版社名	メディアワークス文庫	ページ数	307ページ
値段	590円	ISBN	978-4048704694
コメント	本を好きになろう！という、この授業のコンセプトにふさわしい古書ミステリー。 大ヒットでテレビドラマ化もされていますね。小さなストーリーの連続（第4巻だけは長編）なので、つまみ読み好適品。 内気で優しいのに頭脳明晰な葉子さんに、挑戦してみませんか。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ゆー ☆☆☆☆	ドラマは一切見ていないが、主人公の女の子を剛○さんがやるということで叩かれていたことが印象に残っていて軽い気持ちで手に取ってみました。 1, 2巻はテンポよく話が進み、読みやすく電車の中で読んだりするには良い本で、読んだことがある本などが話題に出ていると物語の登場人物に共感したりなど、とても楽しく読めました。 後の方に関しては、江戸川乱歩のストーリーは一言で言うと長い。一冊の半分の150ページぐらいがちょうどいいんじゃない？という感じでした。 葉子さんの過去について、ちょくちょく入れてくるがせこいなと思うのが続きが気になってしまふ！5巻に期待です。			
	全部	1203P (600分)		2013/07/22 15:10:57
river.i ☆☆☆☆☆	非常に読みやすい作品でした。 推理小説というよりは、いわゆるラノベに近いと思います。 表紙にある黒髪の葉子さんのイラストの効果もあって、読んでいると鎌倉の町にいる葉子さんの姿が浮かびます。 あまり堅い小説が好きでない僕にとってはとても楽しく読めました。 とういかはまりました。5巻が発売されたら買います。 この本の舞台は鎌倉なわけですが、読んでいると鎌倉の町がとても素敵に思えてきます。 読んでいた時期が6月で鎌倉の紫陽花が綺麗な時期なので思い切って行ってきました。 古本屋に黒髪美女がいなかったかさがしたのですがいるのはただのおじさんでした。 でも楽しかったので、この本を読んだ後に鎌倉に行ってみるのはおすすめです。			
	全て	1203P (720分)		2013/07/15 17:21:39

蛭田 ☆☆☆	他の人も書いているように案外サクサク読める。 が、個人的にはあまり楽しめなかった。 ドラマをちょっと見たことがあり、興味がわかなかったので見続けることはなかったため、原作なら・・・と思い手に取った。 まあたぶんこれがツボの人もいるんだろうな、という感じ。			
	一巻	307P (300分)		2013/07/11 17:57:20
初楼 ☆☆☆	さくさく軽快に読み進められるシリーズ。情緒豊かというよりは、出来事を淡々と綴っているという印象です。 本を読んで感動したい、深く考えさせられたい、という人は物足りなく思うかもしれません。ですが作者(栞子さん)の古本紹介が細かいので、「この本読んでみたいな」という思いが生まれます。登場人物は魅力的ですし、謎解きという面でもきちんと伏線は回収されています。ですが、物語を楽しむと言うよりは、新たな読書への架け橋になるシリーズだと思います。			
	4巻まで全部	1209P (720分)		2013/06/20 23:12:40
recald ☆☆☆	あっさりしていて読みやすかった。舞台が鎌倉で、行ったことのある地名が数多く登場したので情景が思い浮かべやすかった。			
	1〜4巻全部	1191P (720分)		2013/06/18 12:01:05
0120086144 ☆☆	何がどう理由で人気なのかわからなかった。ラノベと割り切って読んだ方がいい。			
	一巻全て、四巻エピソードのみ	320P (40分)	特になし	2013/06/11 11:08:52
マルメロ ☆☆☆	一話一話は短いので読みやすかったのですが、思っていたよりも淡々とした読み口でした。先が気になるという感じではないように思います。 個人的には、他の本で出てきた、本が大好きという主人公達と比べると、キャラが弱いかななんて思います。 それでも、また古書店に行きたいなとは思いました。			
	1,2,3巻	858P (180分)		2013/05/14 22:21:29
曦 ☆☆☆	小説が好きといったら、先生はこれを僕に上げました。 最初は2から読み始め、内容について時々わかりませんでした。 気になるところですが、作者は本に人物が登場するときに、必ず着ている服を主に述べ表わします。服についての言葉が不足ですから、こういう言葉が出る時に、辞書で調べます。意味わからないと、何が意味深い言葉を失ったと思います。 推理について、全本を読み終わっていませんので、何も言えないですけども、栞子さん（難しい漢字!!）は本について詳しくて、考え方もオリジナル（言葉を見つからない@@）と思っています。			
	ビブリア古書堂の事件手帖 1	300P (200分)		2013/04/29 18:17:54
あきう ☆☆☆	基本ラノベに限らずキャラ読みする私としては、とっても楽しく疲れずに読めました。ラブ要素の進行が遅すぎる!!!とかじれったくと思いますが(笑)謎解き要素は意外に基盤がしっかりしてるのでラノベ嫌いな人でも読めると思います。			
	1.-4巻	307P (60分)	1巻	2013/04/23 17:46:02

vecky ☆☆☆	栞子さんに萌。 その一言に尽きますね。 文学小説などが特に好きではない私ですけど、栞子さんに萌。 恋をしてください。 は一、こういう子いないかなー。		
	2巻	257P (120分)	全部
2013/04/23 12:19:51			

まほら ☆☆☆	軽い気持ちで読めるからサクサク進む。一応ミステリーだけどラノベという枠があってこそで、純文学として勝負できるレベルのストーリーではない。やたら要素が文学少女に似てるけど、文学少女のがよほど…。		
	1巻	307P (120分)	
2013/04/17 10:40:56			

ショーコール ☆☆☆☆	小さなストーリーの連続なので非常に読みやすかったです。また、古本ミステリーを絡めていて、物語中でその古本がどのような内容かという事がおおまかに書かれているので、そちらの古本の方も読みたくなりました。最近ドラマ化されましたが、原作の方がはるかに面白いです。		
	1-307ページ	307P (100分)	218-304
2013/04/13 10:29:17			

フラン ☆☆☆☆	人間は今まで生きてきただけの歴史がある。もちろん本でもそれは同じ。外見は同じでも、中身は同じでも、その本に刻んだ歴史は買い直すことは出来ない。そのような文章がこれから紡がれている予感がする章でした(もちろんここから物語が始まるので当然ではあるのですが)。 栞子さんが紐解いたところは腑に落ちれば結構好きになれると思います。ただ、「無理矢理じゃね」ってのが何時か現れてしまいそう。正直ここをおすすめに上げようかとも思いましたが、やっぱりその前までの流れが不可欠に感じたのであげられませんでした。 個人的にはこういう静かな小説は好みです。最近読んだ本だと「ピエタ」とかが近いのかな。ちょっとピエタのほうが固いけど。 ――6/20追記 1・2巻を読了したので追記です。 多分出てくる作品を読んでいる人は結構テンション上がるのではないのでしょうか。逆に幻滅してしまうかもしれないのですが。 1巻通してのストーリーだったこともあるので、出来れば通して読んでいただいた方がよろしいかと。 推理小説は既知の知識を間違いなく組み上げるような偏見を持っています。この本はどちらかと言うと既知の情報を用いたストーリーの作成的に解決を試みるので、「犯人はお前だ！」ってスリル感は無いですね。貴方はどんなストーリーを付けますか？と問われている感じ。 なお本に対しては栞子さんのようなことですらしがたいので、多分1巻の二人は似たもの同士だとおもいます。		
	一巻すべて 二巻すべて	552P (190分)	
2013/04/10 20:35:53			

[TOP](#) ^



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- 映画一覧
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

海賊とよばれた男 上・下

著者名	百田尚樹	発行年	2012年
出版社名	講談社	ページ数	738ページ
値段	3,200円	ISBN	978-4062175647
コメント	もし社長面接で「最近読んでおもしろかった本は？」と聴かれたら、迷わずこれを挙げるべし。 出光興産を起こした男の一生に寄り添いつつ、戦前・戦争・戦後と、日本の石油業界が乗り越えてきた幾多の苦難を活写します。小説を楽しみつつ歴史のおさらいもできてしまうすぐれもの。今の日本をつくった男たちの熱さの一端に触れていただければ幸いです。 山室がいちばん好きなのは下巻198ページの金時計のシーン。 以上、「ガソリン」でスタートした今期のラインナップ、「石油」にて終了です。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ねりものや ☆☆☆☆☆	鉄三が凄過ぎて読んでいてただだ圧巻。 出来過ぎだろう！って展開ばかりだったけど、死にもの狂いで働いてきた男だからこそ、これほどの奇跡を起こせたのだらうと、納得できる部分もあったり。。。ちょっとこの当時の出光で働いてみたくなりました。			
	全部	738P (360分)		2013/07/31 22:56:39
river.i ☆☆	ノンフィクションの小説が好きじゃないので☆2です。 さらに歴史系の物語も嫌いなので途中で挫折しました。 ただ他のひとの感想を見ていると面白そうなので今度時間があるときに再挑戦したいと思います！			
	1-100	100P (30分)		2013/07/30 15:27:33
なすび ☆☆☆☆☆	久しぶりに小説を読んだけど、本の分厚さにかかわらず引き込まれたのですらすら読めました。 海外を相手に国のためにばしばし仕事をするのってかっこいい！自分もこんなふうになりたいような、なりたくないようなw			
	全部	738P (300分)		2013/07/29 23:07:56
joker00	「永遠の0」から百田さんの作品にはまりました。 綿密な調査を踏まえての世界観に引き込まれる、さすがです。 現在からすれば所謂ブラック企業なのかもしれませんが、当時の日本には国岡商店のような会社			

☆☆☆☆☆	が、国岡鐵造のような男が必要だったのだと感じます。			
	すべて	738P (360分)		2013/07/16 13:13:08
PON ☆☆☆☆☆	敗戦で何も仕事がない状態から国岡鐵造の指揮のもと立ち直っていく様子は読んでいて胸躍り、面白かった。			
	1-158（上巻）	158P (120分)		2013/07/16 10:55:08
ruke ☆☆☆☆☆	本嫌いな自分が初めて食い入るように読んだ本。 人との出会いが自分の信念や考えを作るんだなと思い、そんな人ともっと出会いたいと思った。このように人生の考え方について非常に勉強になる本だった。「国岡さんが乞食になったら自分も乞食になるよ」ってセリフには涙が出た。是非本嫌いの人、これから就活を控えている人に読んでほしい			
	上下巻	738P (1080分)	上巻230	2013/07/09 13:17:36
ショーコール ☆☆☆☆☆	非常に長かったのですが、本屋大賞取る作品だけあって非常に面白かったです。出てくる登場人物（国岡商店側）が皆熱い人達だらけでこういう所で将来働きたいなと思いました。これを読んで価値観が変わりました！			
	全部	738P (450分)		2013/07/07 19:22:16
フラン ☆☆☆☆☆	文章は比較的平坦。手記のような印象を受ける。読書が嫌いという人でもとっつきやすいかと思います。 よく言えば熱心なのですが、悪く言えば社畜ですね。それでも、こなしてしまうという当時の日本人あつぱれです。（少なくとも今の私にはそんな体力はないので。それでも日本人か！） 個人的には会社が大きくなるよりもその前の小麦を台湾に売りつけるあたりが好きでした。発想の勝利って意味で。こういったところを攻めて行きたい人生。 逆に成長するところは博打が当たった感じでね。その確率を少しでも引き上げる努力というものもありますが、同じ事をやっても確実に成功できないと思います。なんで、我々は真似すべきではないかと。その行末を見る能力こそほしいもの。 後は専門性の高さか。文章中から予想されるに、商学部出身とは思いがたい。おそらくは石油に関する専門の勉強をしたのだろうが、自分の専門から遠いことを学ぶことの難しさ。特に総合大学ならまだしも、単科大（ですよ）。そういったようなところからみなさんも、彼の彼らしさを感じ取ればいいなあと思います。			
	全て	738P (450分)		2013/06/15 00:38:02
daaasuuu ☆☆☆☆☆	熱い、熱すぎる！！国岡鐵造は男なら誰しもがなりたい、ついていきたいと思うリーダーの理想像でしょう。 石油に魅せられた国岡のように、自分も一生を何かに捧げてみたいと心を揺さぶられる本です。			
	上下巻	700P (480分)		2013/06/12 14:33:02
コアラ ☆☆☆☆☆	上下巻で分厚い本だったので借りるのに勇気が入りました。 しかしいざ読み始めてみると、国岡氏のストーリーにのめりこみ、通学時間に読書をする時間がたまらなく好きになりました。信念を持って物事に取り組むこと。迷ったり苦しんだりした時に読んでほしい本です。			
	上下巻全て	738P (400分)	日章丸のアバダン行き	2013/06/05 21:29:21
	他の人も書いてましたが、ぜったい国岡商店はブラック企業としか思えません。でも鐵造のカリスマ性には魅了されました。あのような指導者と出会えた社員たちは幸せものだなあと思います。			

あきう ☆☆☆	「永遠の0」もそうですが、戦争関連の話なのに読んで悲壮感があまりないので、暗い話が苦手な人にもおすすめです。 あと、作中にいくつか地名(特に西日本)が出てきて、門司とか徳山とか行ってみたいくなりました。 ちなみにさっき、たまたま通学路に「出光灯油」の看板を出してる店を見つけたときにはちょっとニヤニヤしてしまいました。			
	上・下巻	738P (360分)	188-216	2013/05/23 12:09:38
はまじ ☆☆☆☆☆	私はワンピースという漫画が大好きで、今回のこの本も「海賊」という言葉に惹かれ、読みました。ワンピースで例えるならば、霸王色の覇気をもった人の話です。数百万人に1人の「王の資質」を持つものしか身に付けることができない覇気です。主人公の国岡鐵造さんは自分の主張を頑として曲げない頑固な性格で、他の人よりも自分で決めたルールは絶対に守ります。そして、絶対に正しい。そんな彼に惹かれ、店員たちが気が狂ったように働きます。現代で見れば、ブラック企業ランキング1位になるような仕事内容ですが、店員たちには悲壮感がなく、笑顔さえ浮かんでいる有様です。周りの人々を巻き込み、日本を突き動かす男に自分もなりたい！特に日章丸が川崎港に到着したシーンが鳥肌立ちました。 ワンピースは漫画なので現実味がありませんが、もし霸王色の覇気を使える人間がこの世にいたらきっと国岡鐵造さんのことなのだと思います。			
	1-738	738P (500分)	下207-212	2013/05/20 15:17:40
フェリー ☆☆☆☆☆	国岡鐵造かっこよすぎです！企業でありながら国家を第一に思う姿勢がかっこいいです！			
	上巻 後半部はつまみ読み	270P (360分)		2013/05/19 18:43:52
万年筆 ☆☆☆	石油会社「国岡商店」の社長、国岡鐵造が戦争で財産をほぼ失っていくところから会社を再び立ち上がらせていく、というのがあらすじです。この国岡商店の社長、国岡鐵造は出光興産の創業者、出光佐三をモデルにしているとのこと。 自分はあまり物語にのめり込めなかったですね…。これは個人の好みの問題もあると思いますが、私はあまりトントン拍子で進んでいくストーリーが好きではなく、それよりはむしろ何度も何度も挫折して、なんとか立ち直る物語とかバッドエンド系の物語とかが好みます。この作品は問題が起きても鐵造の力や周りの人達の力でサクサク解決してってしまうので、なんというかそういう視点で作品を楽しんでいる自分からすると厚みを感じられず、うーん、と唸ってしまう結果になってしまいました。 ただ、物語は水戸黄門みたいな勧善懲悪ものみたくサクサク進むので読みやすいとおもいます。			
	上下巻	738P (400分)		2013/04/24 11:32:40
ひゃくたむ ☆☆☆☆☆	上巻だけでも心打つものがあった。 百田尚樹の作品は「尽くす」というイメージが多々見受けられる。 見返りを求めず尽くすことは難しい。尽くすことをやり続ける、登場人物に尊敬することが感動を与えているのかな。 是非とも他作品も読んでもらいたい。			
	上巻下巻	738P (420分)		2013/04/12 21:39:29



図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

自己プロフィール

掲示板

人はお金だけでは動かない			
著者名	ノルベルト・ヘーリング/オラフ・シュトルベック	発行年	2012年
出版社名	NTT出版	ページ数	313ページ
値段	2,400円	ISBN	978-4757142374
コメント	リクエストにお応えして。		

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
ちょんまげ ☆☆☆☆	最先端の研究をкаいつまんで知れるのはよかった。表紙と文体が合っていないため、「カンタンそう!」と思って手に取る人でも読みやすい表現に変えたらもっと素晴らしい本になるのではないかと思った。			
	ばらばら	100P (50分)	参考文献	2013/07/31 16:02:31
なすび ☆☆☆☆	自分の興味のあるスポーツの分野だけ読書。ゲーム理論でもスポーツに関する研究が行われているのを見て面白かった!			
	237-244	8P (10分)		2013/07/31 11:51:53
massa ☆☆☆	翻訳本だから仕方ないのかもしれませんが、読みづかったです! 興味があるところだけ、読むの がいいと思います。			
	12-30,137-244	125P (120分)	137-180	2013/07/02 13:12:29
あきう ☆☆☆	他の本でも思ったけど人間って不合理な行動してるなーというのがわかります。 男性と張り合うのは楽じゃない。確かに納得! でした。			
	ばらばら	80P (60分)	4章	2013/06/11 10:33:09
Harley Davidson ☆☆	タイトルを見て、面白そうだと思って読んでみました。内容にはあまり興味が持てませんでした。			
	全部 ばらばらと	100P (30分)		2013/06/03 14:44:00

